朝鮮画報

1962年9月26日　第3種郵便物認可第33巻第12号
通巻400号1994年12月5日発行(毎月1回5日発行)

THE KOREAN PICTORIAL
1994月刊

12

金正日書記の周りに一心団結し、主席の革命偉業完成へ

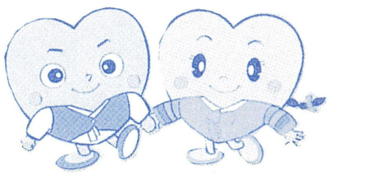
●金日成主席逝去100日中央追慕会

よみがえった民族始祖王陵

●檀君陵が完成

●佳話雅言 荒井信一 ●ズームイン・はばたく 金聖蘭

期間限定キャンペーン中!



期間➡'94年11月1日~12月31日

おたのしみ定期積金

目標100万円

★各地《特産品》を年2回プレゼント!!

本部	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-34-3	☎ 045-323-0111
本店営業部	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-34-3	☎ 045-322-0111
川崎支店	〒210	川崎市川崎区浜町1—7—1	☎ 044-322-5381
横須賀支店	〒238	横須賀市大滝町1—2	☎ 0468-27-0111
小杉支店	〒211	川崎市中原区今井上町42	☎ 044-722-0111
大和支店	〒242	大和市中央2—3—16	☎ 0462-62-0111
鶴見支店	〒230	横浜市鶴見区鶴見中央4-26-10	☎ 045-503-0111
上大岡支店	〒233	横浜市港南区上大岡西3-1-12	☎ 045-842-0111
横浜支店	〒231	横浜市中区福富町仲通40	☎ 045-261-0111
藤沢支店	〒251	藤沢市本町2—8—31	☎ 0466-24-3111
相模原支店	〒229	相模原市相模原1—8—9	☎ 0427-52-0111

朝銀神奈川信用組合

コウノトリ

(Ciconia ciconia boyciana)

激減する伝説の鳥

コウノトリには３亜種がありヨーロッパコウノトリ（C.c.ciconia）は体が小さくてくちばしが紅く、パミールコウノトリ（C.c.asiatica）はくちばしは紅いが体が大きい。そしてかつて朝鮮や日本に多く分布していたコウノトリは体が大きく、くちばしは黒色である。

日本でも明治のはじめころ浅草の雷門の上に営巣したと言われるくらい各地に分布していた鳥であり、朝鮮でも1950年ころまで普通にみられる鳥であったが、今では越冬期に毎年20羽程度が飛来するだけになった。

コウノトリはサギの仲間で樹上に営巣し、木の枝にも上手に止まることができる。マツの枝に止まっているツルの絵を見かけるが、ツルは木の枝に止まることはなくコウノトリと間違えたものと思われる。

コウノトリの繁殖地は、いまではロシアのアムール川とウスリー川流域や、ハンカ湖周辺、そして中国の黒竜江省地方だけになってしまった。

共和国では咸鏡北道(ハムギョン)金策市(キムチェク)臨溟里(リムミョン)一帯を天然記念物（第303号）に指定し、数少なくなったコウノトリの保護に力をそそいでいる。

천 · 연 · 기 · 념 · 물

金日成主席の逝去一〇〇日に際し、平壌で追慕会と献花の儀がおごそかにとりおこなわれた。

一〇月一六日、錦繍山(クムスサン)議事堂でおこなわれた金日成主席逝去一〇〇日中央追慕会には労働者、農民、知識人など、一〇万の群衆が参加した。

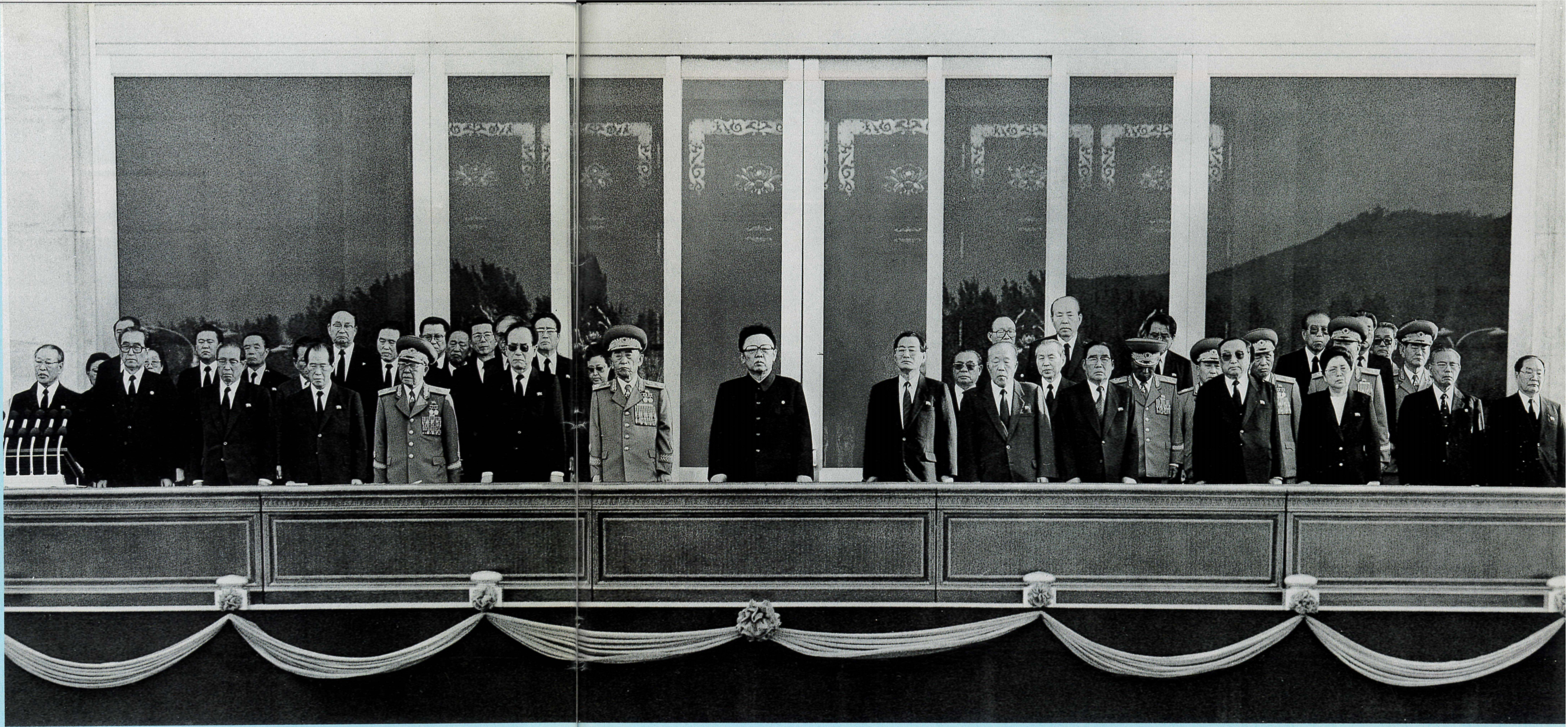
中央追慕会には、朝鮮民主主義人民共和国国防委員会委員長で朝鮮人民軍最高司令官の金正日書記が参席した。また、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員の呉振宇人民武力部長、政治局委員の姜成山総理をはじめ党と国家幹部、社会団体、科学、教育、文化芸術部門の代表、朝鮮人民軍将兵が参加した。

「愛国歌」の吹奏の後、全参加者は金日成主席を追悼して黙祷した。

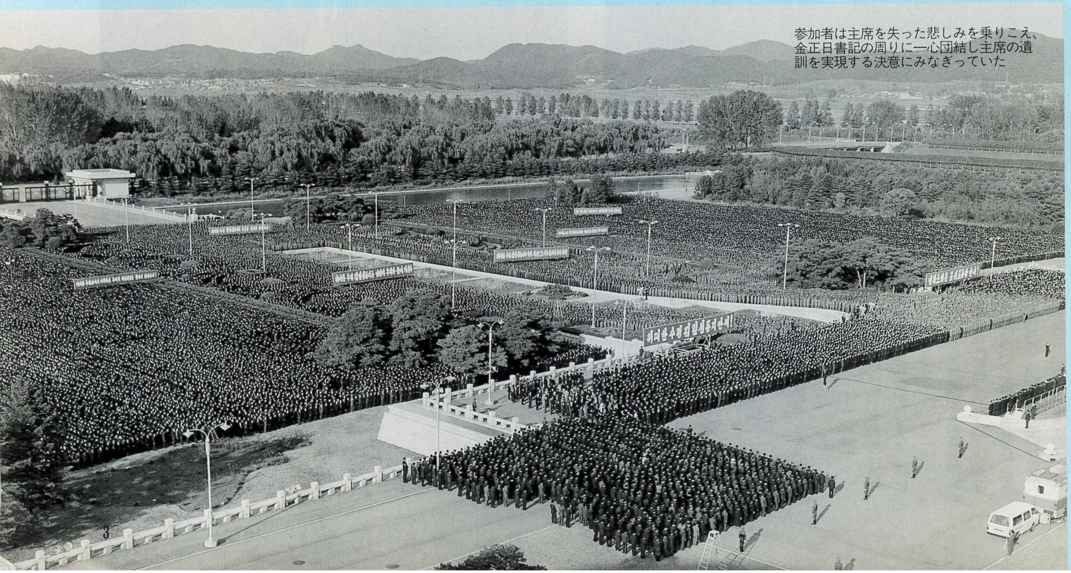
金正日書記の委任を受けて朝鮮労働党中央委員会の金己男書記が演説をおこなった。

金己男書記は演説で、主席を失ったことはわが民族史にかつてなかった不幸であり、損失であったと指摘、この一〇〇日間は、朝鮮人民がいかに偉大な領袖を失ったかを痛感した日々であり、その悲しみを耐え抜き新たな闘士を燃やしてたちあがった日々でもあったとのべた。

そして、朝鮮人民はこの日々に、



党・国家幹部とともに追慕会に参加する金正日書記



参加者は主席を失った悲しみを乗りこえ、金正日書記の周りに一心団結し主席の遺訓を実現する決意にみなぎっていた

金正日書記の周りに一心団結し、主席の革命偉業完成へ

金日成主席逝去100日中央追慕会

万寿台の丘を訪ねる人々の列はとぎれることを知らない

参列した党と国家の幹部

抗日革命闘士たち

金日成主席に最も忠実で人民と苦楽をともにする金正日書記を指導者として戴いていることの幸運を生活を通して実感し、チュチェの革命偉業の未来に対する確信を堅くしたと語り、今後とも金正日書記の周りに一心団結し、社会主義偉業を力強くおしすすめていこうと呼びかけた。

追慕会では朝鮮人民軍の崔光総参謀長、朝鮮社会民主党の金炳植委員長、天道教青友党の柳美英委員長、朝鮮社会主義労働青年同盟の崔龍海委員長がそれぞれ演説、金正日書記の領導のもと主席の遺訓通りチュチェの革命偉業を完成させる堅い決意を表明した。

追慕会場にむかう群衆

追慕会は「インターナショナル」の吹奏で閉幕した。なお、この日、朝鮮の各地でも追慕会がおこなわれた。

一方、同日、万寿台（マンスデ）の丘に建てられた主席の銅像に献花する追慕の儀式がおこなわれた。

これには呉振宇人民武力部長、姜成山総理をはじめ党と国家の幹部が参列、また、祖国訪問中の朝鮮総聯

外国人代表たち

人民軍将兵

追慕の儀に参加した李仁模さん

共和国各界の人々

海外同胞

中央の韓徳銖議長をはじめとする海外同胞、「韓国民族民主戦線(韓民戦)」の李正相代表、「韓国大学総学生会連合(韓総連)」の崔晶南代表、駐朝各国外交代表らが共和国人民とともに参加した。

参列者は追悼曲の流れる中、主席の銅像に献花し、主席を追悼して黙祷をおこなった。

金日成主席逝去一〇〇日中央追慕会

平壌チャンジョン人民学校の追慕会

在日朝鮮人も中央追慕祭

在日本朝鮮人中央追慕祭のもよう

追慕の辞をのべる朝鮮総聯中央・李珍珪第一副議長

主席への敬慕の念を込めて黙祷を捧げる同胞

金日成主席の逝去一〇〇日在日朝鮮人中央追慕祭が一五日、東京都北区の東京朝鮮文化会館でおこなわれた。

朝鮮総聯中央の李珍珪第一副議長、許宗萬責任副議長をはじめ朝鮮総聯の幹部、中央団体、事業体の責任者が多くの在日同胞とともに参加した。

主席の肖像画に献花し、黙祷した後、李珍珪第一副議長が追慕の辞をのべた。

李珍珪第一副議長は、在日同胞は主席が逝去した一〇〇日間を癒すことのできない悲しみの中、主席の逝去を心から追悼したと指摘した後、主席が残した偉大な業績について言及した。

そして、在日朝鮮人は主席を失った悲しみを力と勇気に変え、主席の遺訓に従い、金正日書記を朝鮮労働党と共和国の最高首位に戴き、総聯の愛国運動の成果をもって金正日時代を輝かそうと強調した。

追慕祭は、大阪をはじめ日本各地でもおこなわれた。

涙ぐむ同胞

▷発行＝雄山閣　☎03・3262・3231
東京都千代田区富士見2-6-9
▷定価＝3000円

金日成回顧録

「世紀とともに」第5巻を刊行

金日成主席の回顧録「世紀とともに」の日本語版第五巻がさきごろ、刊行された。

第五巻は「白頭山へ」「長白の人びと」「地下戦線の拡大」の第一三―一五章からなり、一九三六年五月から三七年三月までの出来事を網羅している。

一三章「白頭山へ」では『血の海』の初演舞台」、「女性中隊」、一四章「長白の人びと」では「西間島」、「南満州の戦友とともに」、一五章「地下戦線の拡大」では「民族宗教―天道教について」、「人民を離れては生きられない」、「良民保証書」など興味深いエピソードがふんだんに含まれている。

豊年を迎えた延白平野

—故金日成主席の遺訓を実践して—

大豊作を迎えてよろこび合う延安郡の幹部たちと梧峴協同農場第二作業班の農民たち▶

延白平野は、朝鮮中部西海岸の黄海南道に広がる穀倉地帯である。水稲を基本として各種の穀物や野菜を産出しているこの地帯は、朝鮮における農業生産において大きな比重をしめている。

社会主義経済の発展と人民の食衣住問題を解決するうえで農業生産はきわめて重要な位地を占める。はやくからこのことに深い注意をはらった故金日成主席は、南朝鮮との境界線の沿線地帯にもつながるこの延白平野の多くの協同農場にたいして数多くの現地指導をおこない、農村経営の発展と農業生産物の増産に力をそそいだ。

人民の生活向上と幸福を心から願った主席は、昨年の八月にもここをおとずれて穀物増産についての具体的な指導をおこなっている。

豊年を迎えた延白平野

さらに主席は、延白一帯は共和国最大の平野であるだけに、ここの各協同農場の農産物増産がもつ重要性について強調して、農民たちをはげました。

主席の労作「わが国における社会主義農村問題に関するテーゼ」が発表されてから、今年は三〇周年にあたる。それにちなんで、主席は、延白平野の今年度の農作業にとくに深い関心をよせて、心臓が鼓動を止めるその瞬間まで、作柄の報告をうけ細心の指導をつづけていた。

主席の遺訓がしみわたっている延白平野が大豊作を迎えることができるようにと、金正日書記は主席の現地指導での教えを実践するために多大の努力をはらい、トラクターをはじめ各種の農機を計画的に送り、豊作を迎えることができるように配慮した。

たび重なる主席と書記の指導と配慮、その期待にこたえるために、延白平野のそれぞれの農業協同組合では、田植、田の草とりなどすべての農作業をりっぱにやりとげて、主席の創案になるチュチェ農法にもとづく方法を用いて大豊作をもたらすことができた。

延安(ヨンアン)、白川(ペチョン)、青丹(チョンダン)の各郡の農業協同組合では、昨年にくらべて、一ヘクタール当たりの生産高で、稲は一トン四〇〇キログラム、とうもろこしは一トン二〇〇キログラム以上の増産を達成することができた。

昨年に主席が直接指導した延安郡の梧峴(オヒョン)協同農場の第二作業班の田圃では、稲作で一ヘクタール当たり一〇トン以上の増収を確保した。

野良に出ていく延安郡天台協同農場の農民たち

大粒に稔った稲穂がうなだれてそよ風に波打つ広大な延白平野は、ここで農業にたずさわる人びとはもちろん、共和国の農業の明るい未来を照らし出しているかのようである。

昨年にくらべて稲作で一ヘクタール当たり二・五トンの増収を得た白川郡域久道(ヨククド)協同農場の管理委員長は、つぎのように語ってくれた。

「こうして、延白平野開闢(かいびゃく)以来の大豊作を迎えてみると、お亡くなりになった金日成主席に対する敬慕と懐しさが、ますますつのってきます。主席がこの大豊作をごらんになったらどんなにおよろこびになることでしょう、ほんとうに残念でなりません」

金正日書記は、故主席が多くの現地指導をおこない豊作を願っていたこの延白平野の農業の成果にたいして満足の意を表し、すべての協同農場の農業勤労者（農民）たちに感謝とはげましのことばを送った。そして、労働党と政府の幹部を現地に派遣して提起される問題をすべて円満に解決できるように措置をとった。

現地をおとずれた幹部たちは、農民たちとひざをまじえて歓談し、豊作をもたらしたかれらの労をねぎらいつつ、成果を祝った。

なごやかな雰囲気のなかでおこなわれたこの歓談の場で、農民たちは異口同音につぎのように語るのであった。

「この豊かな延白平野のすばらしい協同農場で働きながら、金正日書記の指導のもとにさらに豊かな生活を営んでいきます」

このような決意を率直に語った農民たちは、亡くなった金日成主席と金正日書記の希望どおり、秋のとり入れに汗を流していた。

収穫作業にいそしむ延安郡復興協同農場の農民たち

とうもろこしの脱穀作業にはげむ延安郡鼎村協同農場第一作業班の農民たち

PHOTO'94

初冬の落陽を見る

李朝の詩人曺偉(チョウイ)は、「西京八詠(ソギョン)」のなかで、乙密台(ウルミルデ)、浮碧楼(プビョクル)、永明寺(ヨンミョンジ)、普通江(ポトン)、平川江(ピョンチョン)、蓮池(リョンジ)、龍岳山(リョンアク)、大同江(テドン)の名をあげ、四季折々の景勝をほめたたえている。

西京は平壌(ピョンヤン)のことで、これがのちに「平壌八景」として知られるようになったが、いまの平壌なら、どこの風景の、どのような風情が選ばれるであろうか。

いわゆる観光百選ではないが、人気投票をしたとしても、とても八景ではおさまるまいし、やはり百景くらいは選ばれるであろう。

そんなことを考えながら、ふと、平壌の落陽風景に気づいた。高層ビルの谷間へ、静かに沈んでゆく太陽——。思いがけない美しさが胸を打った。

わが国の詩人にも、落陽をうたった作品が意外と多い。

馬は行かんとしていななくに
君はわれを離さず
夕陽は山の背に沈み　行く道は遠く
果てなし
君よ　われを止めず　美しき落陽こそ
抱くべし

すがすがしい初冬の平壌がのぞかせた夕暮れの一コマである。

朝鮮画報 1994 12月号目次 KOREAN PICTORIAL

金正日書記の周りに一心団結し、主席の革命偉業完成へ ●金日成主席逝去100日中央追慕会 2

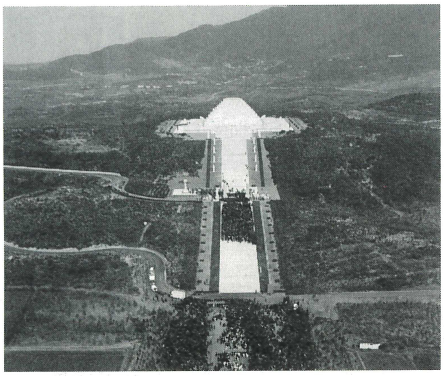
金日成回顧録「世紀とともに」第5巻を刊行 8
豊年を迎えた延白平野●故金日成主席の遺訓を実践して 9
近代朝鮮民族運動の先駆け●甲申政変110周年に際して 孫文奎 14
英雄支配人●アン・リョンオクさん 18
慈しみあふれる学院●南浦革命学院 20
肉親の情をもって●栄誉軍人と女医 22
海ぞいの村●長津水産協同組合 24

よみがえった民族始祖王陵 檀君陵が完成 26

優勝カップと女子サッカーチーム●努力こそが栄誉をもたらす 32
貴石画創作家●万寿台創作社のチェ・ソンヒさん 34
共和国訪問記・平壌の澄んだ大気と静かな朝 首藤信彦 36

問われる「国家の道義」と人権感覚 42
●在日朝鮮人への国民年金差別是正を 朴三石

秋晴れに心地よい汗●東京同胞大運動会 46
ぱらむ・風／キーワード 52



表紙＝完成した檀君陵

インタビュー
◉ズームイン・はばたく
金聖蘭 画家・講師・母（オモニ）と多忙 40
◉佳話雅言
荒井信一 日本の国家犯罪を追及する 64

朝鮮の天然記念物 コウノトリ 1
PHOTO'94 初冬の落陽を見る 12
朝鮮・日本の歴史と文化 奈良時代の高僧ー行基 朴鐘鳴 38
画報美術館 日像透彫金銅装飾 54
朝鮮のむかしばなし 魔法のきぬた 56

親善往来 16
ファイル 48
朝鮮料理 ミナリキムチ 55
朝鮮語教室（冬） 62
画報漫評／声 63

マダン
SCREEN EVENT KOTOWAZA BOOKS 58
今月のアート 朝鮮の特産物 SPORTS BEST・SHOT 60

●本誌に掲載の記事・写真は無断複製・転載を禁じます©朝鮮画報社1994

近代朝鮮民族運動の先駆け

—甲申政変一一〇周年に際して—

孫文奎（朝鮮大学校教員）

甲申政変のリーダー金玉均

朝鮮における最初のブルジョア改革運動であり、朝鮮近代史の転換点として大きな歴史的意義をもつ甲申政変が断行されてから今年で一一〇年目を迎える。

この甲申政変の性格と意義、この改革運動の原動力となった金玉均をはじめとした開化派の役割を正しくとらえることは朝鮮近代ブルジョア改革運動に対する歪曲や誤りを正し、朝鮮近代史の研究を深める上で重要な課題のひとつになっている。

◎開化派による国政改革運動の展開

一九世紀中期、朝鮮の社会状況は国内的には封建制度の危機の深まりと資本主義関係の成長、また対外的には列強の侵略の危険が迫る中で、新しい思想傾向をもつ開化思想が台頭してきた。

一九世紀五〇年代から中人階層出身の呉慶錫、劉鴻基や愛国官僚の朴珪寿らによって初めて主張された開化思想は旧い封建制度を清算し資本主義制度を打ち立てることを目指すブルジョア思想潮流の出現を示すものであった。

七〇年から八〇年代にかけて開化思想の指導者となった金玉均は劉鴻基や朴珪寿たちとの交流を通じて西欧の近代的文物制度に関する書物を研究し、また従来の実学思想の肯定的な要素を吸収する傍ら、世界情勢の趨勢に目を向ける中で開化思想を一層発展させ具体化した。

この開化思想には、政治分野で専制君主制をやめ立憲君主制による近代的国家制度の導入を計り、経済分野では近代技術、会社組織のような経営方式を採用して各種の産業を起こし、国防や軍事訓練の近代化等を目指す進歩的なものであった。

一八七〇年代、李朝封建政府の要職に着いた金玉均等の精力的な活動により、名門出身の洪英植、朴泳教や中人出身の李東仁をはじめ、儒生、軍人、商人を含め社会の各層に開化思想の支持者を広げ、ついに政府の高官である魚允中、金允植、金弘集等の革新官僚の支持まで取り付けるまでになった。

こうして新しい政治勢力に成長した開化派は、当時閔妃一派が占める反動的な守旧派政権のもとで国王（高宗）を説得して、国政改革事業を積極的に推し進めていった。

◎金玉均らによる甲申政変の断行

一八八三年になると開化派の積極的な改革活動に対し清国の兵力を後盾に政権の維持に汲々とした守旧派たちは金玉均等の運動を正面から阻止しはじめ、改革機関から開化派官吏を次々に追放、地方に左遷させたばかりか、開化派の指導者である金玉均の殺害までも計った。

守旧派をはじめ内外反動たちの執拗な妨害に会った開化派の改革運動はこれ以上平和的な手段で進めることが困難な状況となった。

このため、一八八四年九月一七日、金玉均は開化派の要人を集め守旧派政権を武力で一挙に打倒して新政府を打ち立てることを決め、極秘裏に政変計画を進めていった。

開化派のねばり強い活動により一〇月一二日、国王の支持を得ることに成功し、また日本公使竹添から日本軍を政変時、国王の護衛に出動させることとの約束をとりつけた。この日本軍出動要請は清と日本の利害対立を利用して清国の干渉を排除することを狙った開化派の戦術であった。

こうして一〇月一七日（西暦一二月四日）、金玉均ら開化派は洪英植が総弁を務める郵政局新庁舎落成祝賀宴会を利用して、この場で招待した閔泳翊ら守旧派の政府要人を処断し政権を奪取しようと計画した。

ところが当初の計画は予定していた別宮放火がうまくいかず政変は第一段階からつまづいてしまった。しかし金玉均は躊躇することなく開化派を率いて昌徳宮に駆けつけ国王を

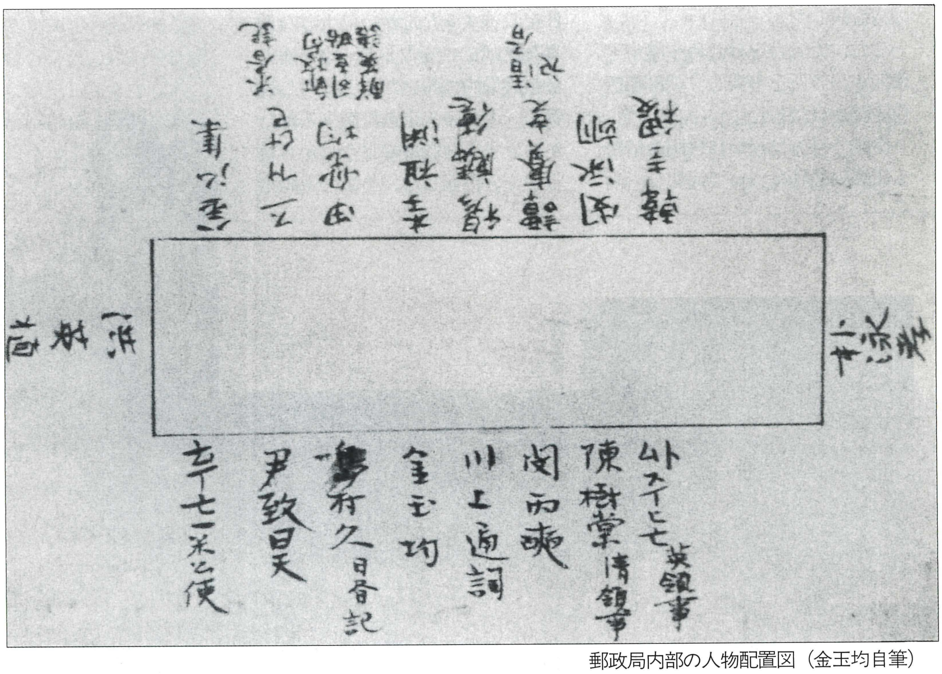
防御に有利な景祐宮に移して開化派の兵士と日本軍の護衛をつけた。
　国王を手中にした開化派は接見のため登城する守旧派の要人を次々に処断する一方で、翌一〇月一八日、開化派による新政府を組織し、其の旨を外国公館に通告した。
　この日、開化派新政権は一四ヵ条からなる注目すべき政綱（政府綱領）を発表した。

甲申政変の舞台になった郵政局

　この新政府の政綱は、まず清国に対する朝貢の廃止を宣言し、門閥の廃止、地租の改革をはじめとする官制、財政、軍制等国家全般にわたる改革をうたっており、制度の改革を軸に上からの改革を進めることを意図していた。
　この新政府の政綱は当時の朝鮮社会の合法則的発展の要求を反映したものとして国の全ての分野でブルジョア改革を推し進め近代的国家に作り上げ民族の自主独立を守り抜こうとした進歩的なものであった。
　しかし勝利するかに見えた開化派の政変は一〇月一九日午後閔妃一派と袁世凱の清国軍の攻撃に晒され、また情勢を不利とみた日本側が一方的に軍を撤収させたため圧倒的な清国軍のまえで貧弱な武器しか持たない開化派は防戦にもかかわらず大部分が無惨に殺害され、新政府は僅か三日で崩壊した。
　このため金玉均は開化派の一部要人と共に日本への亡命を余儀なくされ、後に大逆賊と汚名を着せられ暗殺された。

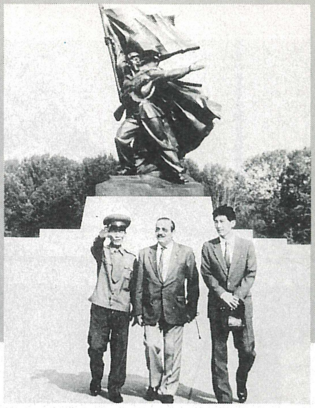
◎甲申政変の教訓と歴史的意義

　甲申政変は三日天下で終わり、近代化を目指した開化派はその目的を遂げることが出来なかった。
　甲申政変の敗因は開化派の階級的制約、力量の微弱性、一連の戦術的誤算、清国の武力干渉と欧米の黙認、日本の背信行為などが指摘されている。
　甲申政変はいかなる歴史運動においても人民大衆の参加なしには勝利する事が出来ないことを貴重な教訓として示している。
　甲申政変は失敗に終わったが、わが国のブルジョア民族運動の新しい時代をきり開いた画期的な出来事として、列強の侵略から民族の自主権を守る反侵略愛国運動として大きな歴史的意義を持っている。
　また開化派が展開したブルジョア改革はわが国の封建的停滞と後進性を克服しようとする進歩的な戦いとして重要な意義を持っている。
　甲申政変はその後に展開された甲午農民戦争と甲午改革、国権回復運動、二〇世紀初頭の愛国啓蒙運動や反日義兵闘争へと継承され、朝鮮近代民族運動に大きな歴史的影響を及ぼしている。
　しかし従来から、甲申政変に対して開化派と守旧派による単純な政争であるとか、日本の明治維新を教条的に模倣したものであるとか、中には金玉均ら開化派の愛国的な活動を親日派で外国の手先であったかのごとく歴史的事実を甚だしく歪曲したものも少なくない。
　今日、甲申政変の持つ大きな歴史的意義と教訓、開化派の果たした愛国的で進歩的な役割を正しく認識することは朝鮮近代史の理解を深めるうえで重要な意味をもっている。



郵政局内部の人物配置図（金玉均自筆）

日本社会党組織局長が東明王陵を参観



フランス国会上院外交・国防委員会事務局長が祖国解放戦争勝利記念塔を参観

国防委員会のミシェル・アーロンクル事務局長が訪朝した。

事務局長は万寿台の丘の金日成主席の銅像に献花し黙とうした。

訪問期間、金永南副総理兼外交部長、最高人民会議外交委員会の黄長燁委員長は事務局長と各々会見、友好的な雰囲気の中で談話を交わし、平壌市と南浦(ナムポ)市を参観した。

3大革命展示館を参観した事務局長は、金日成閣下と金正日閣下の賢明な指導のもとに朝鮮で達成された大きな成果を明白に示しているとのべた。

反帝自主めざす共同闘争の中で

朝鮮職業総同盟（朝鮮職盟）とインド労組中央は8月、平壌で共同声明を発表した。

共同声明でインド労組中央代表団は、朝鮮人民の前途を示し歴史的勝利へと導いた国際共産主義運動の偉大な領袖である金日成主席の逝去に悲しみを禁じえず万寿台丘の主席の銅像に献花し深い哀悼の意を表した。

また、万景台(マンギョンデ)をはじめ平壌市と南浦市の各所を参観し、朝鮮職盟代表団と会談した。

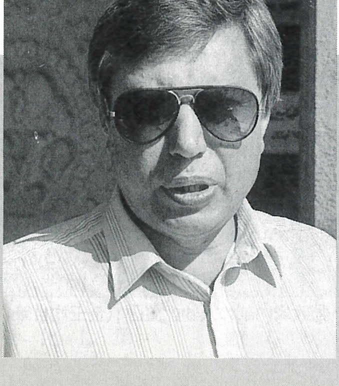
会談で双方は互いに自国の情勢と組織の活動について通報し、両組織間の関係を発展させる問題と相互の関心事となる問題について意見を交わし、両組織が早くから反帝自主をめざす共同闘争で友好の絆を結び互いに緊密に支持協力しあってきたことに満足の意を表した。

共同声明で朝鮮職盟は、インド労組中央が労働者の労働と生活条件を改善するたたかいで大きな進歩を遂げていることと、第8回大会を成果的に開いたことに対し祝賀し、大会の決定を貫徹するたたかいで成果を収めるよう心から希望すると指摘した。インド労組中央は、朝鮮の労働者階級と人民が金日成主席を亡くす大きな悲しみに見舞われながらも、党と国家、軍の偉大な指導者金正日書記のまわりに固く団結し、書記の革命偉業を成果的に遂行していることに深い感動を表した。

共同声明でインド労組中央は、金日成主席が示した自主、平和統一、民族大団結の三大原則と「祖国統一のための全民族大団結10大綱領」に基づき一民族、一国家、二制度、二政府に基づく連邦制方式で国の統一を達成するための朝鮮人民と勤労者の闘争に全面的な支持と固い連帯を表したと指摘した。

また、双方は帝国主義者の策謀がさらに悪らつになっている実情のもと、進歩的な世界のすべての国の労組団体が自主性の原則に基づき固く団結して全世界で広範な反帝共同戦線を形成し、反帝、反戦、反核、平和運動をさらに活発に繰り広げるよう熱烈に呼びかけたと指摘した。

親善往来



ロシア金正日主義研究センターの責任者ミハイル・コンキン氏

万景台学生少年宮殿を参観するインド労組中央代表団

친 선 왕 래

親善往来

朝鮮、ウガンダ政府経済代表団間の会談録が平壌で調印

チュチェ思想塔に高級石材寄贈

ロシア金正日主義研究センター

現情勢のもと、世界は偉大な指導思想なしには一歩たりとも前進できない。例えて言えば、航海する船が前を照らす灯台なしには少しも前進できないように、現世界も前途を示す偉大な指導思想がなければならない。

こうした意味から、われわれは金正日書記が発展させ豊富にする偉大なチュチェ思想だけが人類の自主偉業の完成をめざす唯一の指導思想であることを確信し金正日主義研究センターを結成した。

9月に訪朝したロシア金正日主義研究センター責任者のミハイル・コンキン氏が平壌(ピョンヤン)に到着した際におこなった発言である。

ロシア金正日主義研究センターでは今回の訪問期間、不滅のチュチェ思想を創始して全世界の自主化偉業に巨大な功績を積み上げた金日成主席とチュチェ思想を現代の偉大な指導思想に絶えず発展させ豊富にしている金正日書記への深い尊敬と敬慕の念を抱いて研究センターのメンバーが真心こめて用意した高級石材をチュチェ思想塔に寄贈した。これには「チュチェー金正日主義」との文字が刻まれている。

寄贈式で代表団団長は、チュチェ思想は現代の最も偉大な哲学思想である。チュチェ思想塔に展示されている世界各国から送られてきた高級石材がその証拠であるとのべた。

訪問期間、ロシア金正日主義研究センターは万寿台(マンスデ)の丘の金日成主席の銅像に献花し黙とうした。

花輪のリボンには「偉大な領袖金日成同志は永世する!」との文字が記されていた。

経済技術協力に関する会談録調印

ウガンダ政府経済代表団

8月、ウガンダ政府経済代表団が訪朝した。

李鐘玉副主席と会見した席上、団長のアントニ・ログル・ブテレ大統領室国務相は金日成主席の逝去に代表団の名において深い哀悼の意を表し、ウガンダ人民は民族の偉大な太陽である敬愛する主席を亡くした朝鮮人民と共に悲しみを分かちあっているとのべた。

団長は、金正日閣下の指導を受ける朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮人民が金日成閣下の遺訓を実現するために悲しみを力と勇気に変え社会主義建設で革新を創造するものと確信すると強調した。

訪問期間、両国政府経済代表団間に会談がおこなわれ、経済技術協力に関する会談録が平壌で調印された。

友好訪問

日本社会党中央執行委員会委員で組織局長の深田肇・参議院議員が9月初めに訪朝した。

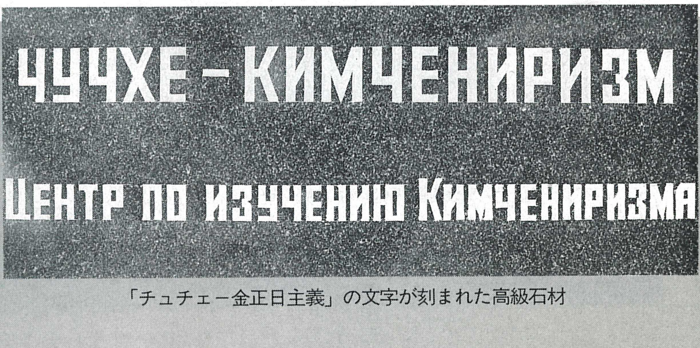
朝鮮労働党中央委員会の黄長燁書記と会見した深田肇氏は金日成主席の逝去に深い哀悼の意を表し、主席の逝去は朝鮮人民だけでなく世界の人民にとって大きな損失になるとのべた。

深田氏は、金日成主席の生前の意志どおり日朝両国間の友好関係を発展させるために全力を尽くすとのべた。

席上、両党間の関係発展のための一連の意見が交換された。

8月、フランス国会上院外交・

チュチェ思想塔で高級石材寄贈式



「チュチェー金正日主義」の文字が刻まれた高級石材

英雄支配人

●アン・リョンオクさん

蘆灘青年林山事業所支配人で労働英雄のアン・リョンオクさん

両江道の金亭稷郡（金正日書記の祖父の名にちなんでつけられた郡）には、うっそうと茂る樹林が広がり、豊かな木材資源があふれている。そこには蘆灘青年林山事業所があり、支配人であるアン・リョンオクさんがそこの責任者である。

朝鮮における社会主義基礎建設が終り、それをさらに高い段階へと発展させるための千里馬運動が高揚していた一九六〇年代の初めに、彼はすすんで伐採工になった。そのとき彼は、青年たちがすすんで困難な仕事を担当するようにと訴えた朝鮮労働党のアピールにこたえて、故郷の平安南道安州市をあとにして、ここ北辺の地、両江道へきたのである。

林山業がはじめてであった彼は、仕事にかんしてまったく無知であった。しかし、二〇代の青春のさなかにあった彼は積極的に専門知識を学び技術を身につけていった。そして、きわめて短い期間に樹木の伐採と処理にかんする要領をおぼえ、生産目標を超過完遂する成果をあげることができた。

自分の仕事にたいする強い責任感とかげ日なたのない労働とによって、彼は同僚たちから尊敬され信頼をよせられた。そうした努力がむくわれて、彼は作業班の班長と作業所の所長を歴任してここの林山事業所支配人にばってきされたのである。

彼が支配人としてもっとも力を注いだのは、労働者たちの知恵とエネルギーを汲みだすことであった。

彼がまだ作業班の班長をつとめていたころの一九七四年は、人民経済のすべての部門で「七〇日間戦闘」が力強く繰り広げられていた時期であった。この「七〇日間戦闘」は、金正日書記の発議によって展開された大衆運動で、六ヵ年計画完遂の突破口を切りひらくのがその目的であった。

アン・リョンオクさんは作業班の班長として労働者たちとともに技術開発をすすめ、設備を改造して作業の機械化比率を大きく向上させることに力を注いだ。その結果、作業班の生産目標を数倍もうわまわって達成するという成果をあげることができた。こうした成果にもとづいて、アン・リョンオクさんはひきつづき生産にはげみ、木材生産の六ヵ年計画期間の目標を三年も短縮して完遂するという奇跡をつくり出したのである。

彼は支配人になったのちも、つねに労働者たちと話し合い、意見をかわして増産につとめた。

今年の初春のことであった。上半期以内に数万立方メートルの木材を製紙工場に供給するという緊急の課題が提起された。伐採のすんだ木材は十分にあったが、林業線の通っている積載場まで運ぶのが問題であった。このときもアン・リョンオク支配人は、各地の作業所に出むいて労働者たちの意見を聞き討論をかさねた。その結果、林業鉄道を延長することとケーブルを用いて運搬することになった。労働者たちは、自分たちが考え出したこの難工事に全力をかたむて、短時日内に完工させた。

こうして、きわめて困難な緊急課題もりっぱに達成することができた。

アン・リョンオクさんにとって、労働者たちは苦楽をともにわかち合う同志であり友人でもあった。だからこそ彼は、あるトラクター運転手の結婚式を祝うために何キロもの夜道を歩いたり、働きながら学ぶ教育体系（通信教育）で勉強する青年労働者たちの学習条件をととのえたりするのであった。こうした努力によって、彼の事業所からは多くの技師と準技師が育った。

アン・リョンオクさんはもうすぐ還暦を迎える年である。しかし、若い伐採工たちと肩をならべて山中の伐採現場を行き来する彼は、金日成主席が残した教えを実践し金正日書記の指導を具現する道で、今日もまた青春さながらの情熱をもってはたらいているのである。

アン・リョンオク支配人はいつも労働者たちとともにいる

青年労働者に伐採法を教えるアン・リョンオクさん

休息のひとときを楽しむ

慈しみにあふれる学院

●南浦革命学院

南浦革命学院の生徒たち

青く生い茂る木々に囲まれて建つ南浦（ナムポ）革命学院。朝鮮全土が戦火の中にあった一九五一年の一月、もとは戦争で親を失った子供たちのために開校したこの学校で、今は不慮の事故などで亡くなった労働者や人民軍兵士の遺児らが学ぶ。

延べ建坪三万四〇〇〇平方メートル。八〇人の教師が四〇の学級を教え、生徒らはここで人民学校(日本の小学校に相当)から高等中学校(同中学・高校に相当)までの教育課程を受ける。

生徒たちは学院内に整えられた施設類をぞんぶんに利用して知識を育み、体を鍛えていく。

学院には普通教室のほか、化学実験室や生物室、物理室、コンピューター室、さらに外国語視聴室や自動車運転・通信実習室までが備えられている。図書館の蔵書は四万部。主席から贈られた熊やノロジカなど朝鮮に棲む生き物のはく製品が多数保管され、教材林や温室など、生徒たち自らが管理する校内実習地も豊富である。また、女子生徒が被服や調理の実習をおこなう女学生実習室もある。

生徒が寝起きする寄宿舎をみると、ひと部屋につき二〜三人がはいって生活する。ベッドの高さは年齢に合わせて変えられる。ここでは科目別の担任のほかに定められた生活指導の先生たちが生徒の生活のめんどうを見ている。風呂や着替え、つめの手入れ、ボタンつけ、はては生徒の大好きなおはなしをしたり子守歌を歌ってあげたりと大変忙しいが、先生たちは実の母親のように子供たちに接し、見守っている。

学院内には病院もある。小児科、内科など各専門の医師がいるが、彼らは生徒たちのクラス別担当医としての役割もはたしている。気になる学内食堂の食事では、栄養面と子供の好む献立に気を配りながら、「お母さんの愛情が感じられる味を」をモットーに日々食事作りに励む。

生活必需品と学用品を国から無償で支給されて生徒たちは勉強に、スポーツに、課外活動に打ち込み、時には見学旅行や野外研究、元山（ウォンサン）市の松濤（ソンドウ）院にある野営場でキャンプをしたりもする。そんな充実した学校生活を送る彼らの描いた絵が時折学内の掲示板にはられることがあるが、その多くは祖国の統一を心から願うものである。たとえ両親がなくとも、幸せに満ちた日々を送る南浦革命学院の子供たちの表情に陰りを見出すとすれば、それはいまだ一つの民族が二つに分かれて暮らさねばならない悲劇―その一事がもたらすものではないだろうか。

定期検診を受ける生徒たち

物理室にて

講義の時間

生徒たちは運動クラブでの活動を通じて体力を培う

肉親の情をもって

●栄誉軍人と女医

チョン・ジャンファンさん一家のだんらんのひととき

咸興（ハムフン）市会上（フェサン）区域にある咸鏡（ハムギョン）南道衛生防疫所のスタッフは、この防疫所に医師としてはたらいているコ・ヨンヒさん一家が引っ越しをしてきた当時のことを話してくれた。

数年前、コ・ヨンヒさんと精誠（チョンソン）大学教員の夫チョン・ジャンファンさんがここ会上区域会上一洞に引っ越してきたとき、近所の人びとは、驚きの色をかくさなかった。

なぜならば、かれらがここにくる前に住んでいたのは、成川江（ソンチョン）の岸辺の景色のよいところで、アパートも五ＬＤＫもあって、そのうえバス停の近くなので通勤にも便利なところであったからである。

コ・ヨンヒさん一家が移り住むことになったアパートは以前にくらべて条件がよくなかったし、近くには咸興栄誉軍人(負傷した軍人)たちだけがはたらく日用品工場があり、かれらの住宅が建ちならんでいた。

チョン・ジャンファン夫婦がこのような栄誉軍人たちの住む住宅街に移ってきたのは、それだけの理由があった。

一九八六年のある日のこと、若い除隊軍人がたずねてきた。ジャンファンさんが軍務についていたころに同じ部隊にいた新兵のリ・ジョンソクであった。二人は再会をよろこんで抱き合った。そのとき、青年の上着の片袖がからっぽであることがわかった。

驚き顔のかれに、ジョンソクさんは、軍務についていて負傷し故郷の新興（シンフン）郡に帰る途中に立ち寄ったと説明した。

痛ましい思いをおさえきれないでいる元の分隊長の心中を察した彼は、微笑をうかべてこう語った。

「男子に生まれて祖国のために命を捧げるのは当然のことです。腕を一本なくして除隊することになりましたが、祖国を守る軍人の本分をつくす覚悟で、これからも生きてゆきますよ」

一点のくもりもなくほほえみをうかべて話す彼のことばに、ヨンヒさんは深い感銘をうけた。

（これこそが、現代を生きる朝鮮の若者なんだわ）

ジョンソクさんが入院して治療をうけている間、コ・ヨンヒ夫婦は毎日のように見舞いにいって、実の弟のようにつくした。

あくる年にジョンソクさんは結婚した。このときもコ・ヨンヒ夫婦は式場の準備はもちろんのこと、必要なものすべてをととのえて、若い二人の門出を祝ってやった。

国家の配慮によって、ジョンソクさんは大学で学ぶことになったが、その勉学の期間もコ・ヨンヒ夫婦は彼のために物心両面にわたって援助を惜しまなかった。

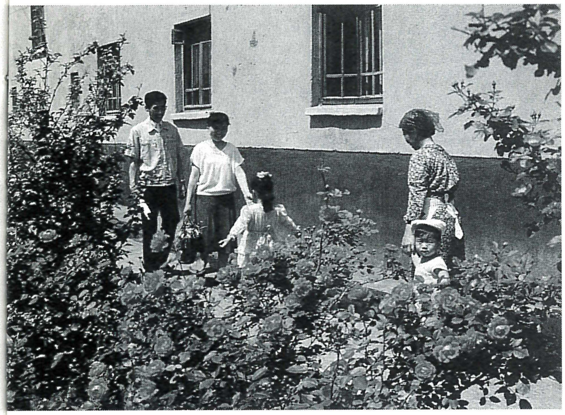
そうした過程で、二人はジョンソクさん以外の栄誉軍人たちの力にもなってやることを決心して、彼らのはたらく日用品工場の近くに移り住むことにしたのである。

引越をすませてから、コ・ヨンヒ夫婦は栄誉軍人の家庭をたずねまわるのを日課とするようになった。二人はなによりも、負傷してからだの不自由な栄誉軍人たちの健康を気づかい、また、家庭内の雑用を手伝ったりした。

栄誉軍人のなかには祖国解放戦争（朝鮮戦争一九五〇年六月～五三年七月）のときに偵察兵として活躍し両眼を失い腕に傷を負ったカン・テウォン老兵もいた。また、両足を失くした老兵や両腕の失くなった三〇代の壮年もいた。

栄誉軍人の家庭では、彼ら二人がたずねてくるのを心待ちするようになった。二人は毛布や生地、本などを集めては家庭訪問をし、栄誉軍人たちの良き相談相手となり、彼らとの関係は親と子、兄弟と同じようなものになった。

栄誉軍人の子弟たちが大学に入学したり、人民軍に入隊したりすると、彼らは必ず、チョン・ジャンファン夫婦に「おじさん」「おばさん」と呼びながら手紙を書くのであった。



そうした手紙は、自分たちが子どものころに遊園地や公園でいっしょに遊んでくれた思い出や勉強をみてもらったことなどをなつかしむ内容で、栄誉軍人にたいする二人の誠意と愛情が、自分たちの学業や軍務に大きなはげましになっているというのであった。

チョン・ジャンファン夫婦は家族うちそろって日本から祖国に帰った帰国者である。二人は国家の配慮で大学を卒業することができた。彼らにとっては、祖国のためにたたかって傷ついた栄誉軍人につくすのは当然のことに思われた。

私心なくただひたすら社会と集団、そして祖国の利益のためにつくすことを生きがいとするこの夫婦こそは、一心団結して全社会が一つの家庭をなしている社会主義祖国に咲いた美しい花だといえよう。

コ・ヨンヒさんは夫とともに栄誉軍人の家庭をたずねて健康診断をする

栄誉軍人たちとの楽しいひととき

海ぞいの村

●長津水産協同組合

操業中の水産作業班員

風光明眉な東海に面した江原道の通川郡長津水産協同組合は、金日成主席が一九五九年六月、自ら訪れた地である。

当時、組合の年間漁獲高は数十トンほどしかなく、組合員の生活も決して豊かではなかった。

組合員と膝を交えた主席は、海に面した地域では海を効果的に利用しなければならないとのべ、水産業を中心にしつつも農業も営む半漁、半農協同経営の新たな道を明らかにした。

主席は、自ら水産協同組合と名付け、再三にわたり近代的な機械船や漁具、車とトラクターを送った。

「私たちはいま、浅海養殖とともに、海域の具体的な研究と、季節によって回遊する魚の状態に合わせて漁業計画を立て、ほっけ、かれい、かたくちいわし、いかなごはじめ多くの魚を毎年数千トン水揚げしています」と管理委員長で労働英雄のリ・ウンスンさん（女性）は語ってくれた。

機械船などの装備を完備している組合は年中欠かさず操業、漁業や採具などでわきかえっている。

組合では自然地理的特性に合わせて果物と野菜の生産をベースにして農業も着実に営んでいる。

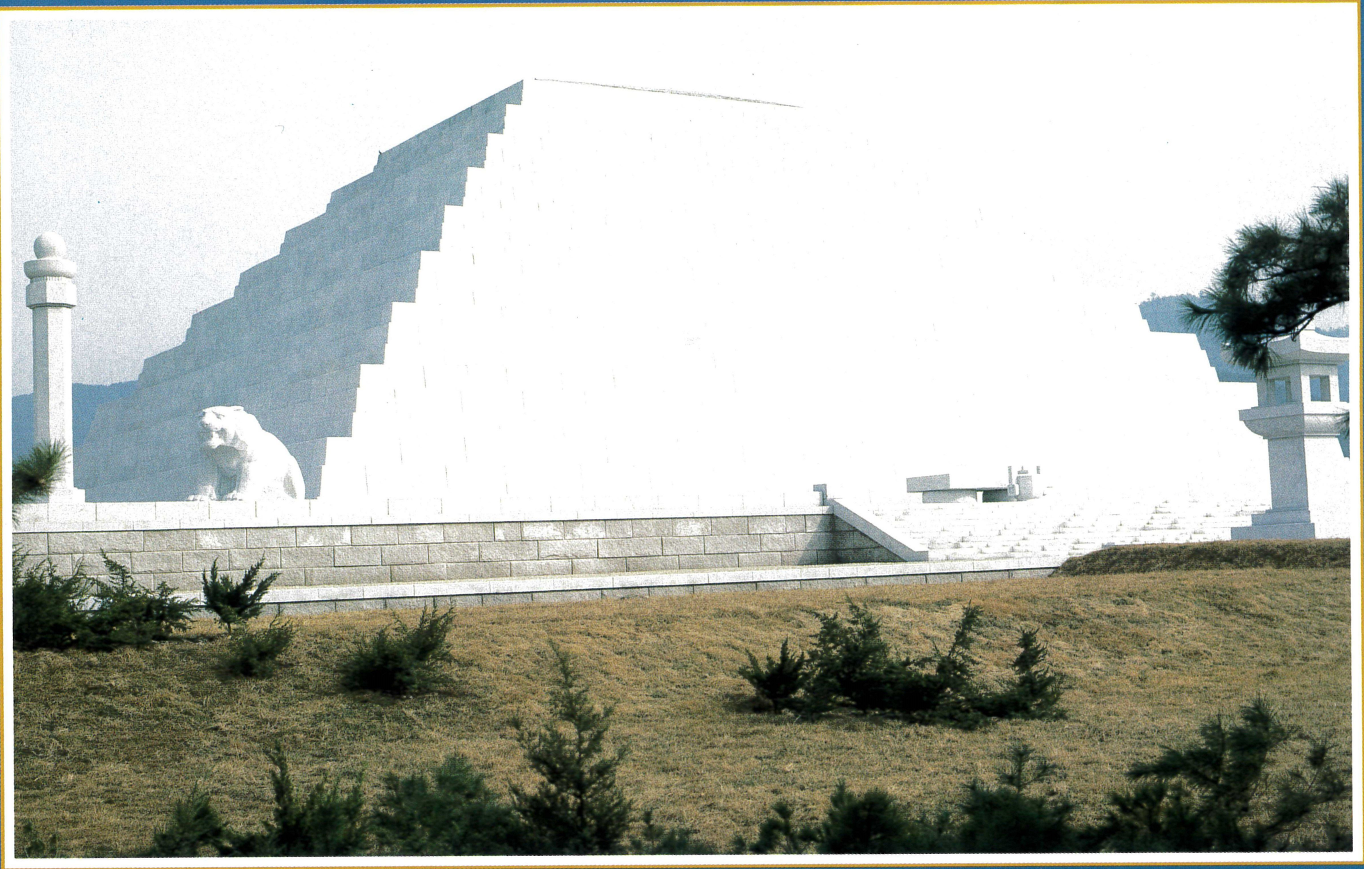
毎年、じゃがいもやりんご、梨などの果物や野菜を数百トン生産して漁労工たちに供給し、都市にも送っている。

また、学校や病院、文化会館など文化厚生施設や立派な住宅を建設して生活も文化的に営んでいる。

住民の健康に関心を払う管理委員長（中央）と医師たち

柿の木を栽培する果樹作業班員

海ぞいの村、長津里（江原道通川郡）



花崗岩を九段に積み重ねた陵墓

よみがえった民族始祖王陵

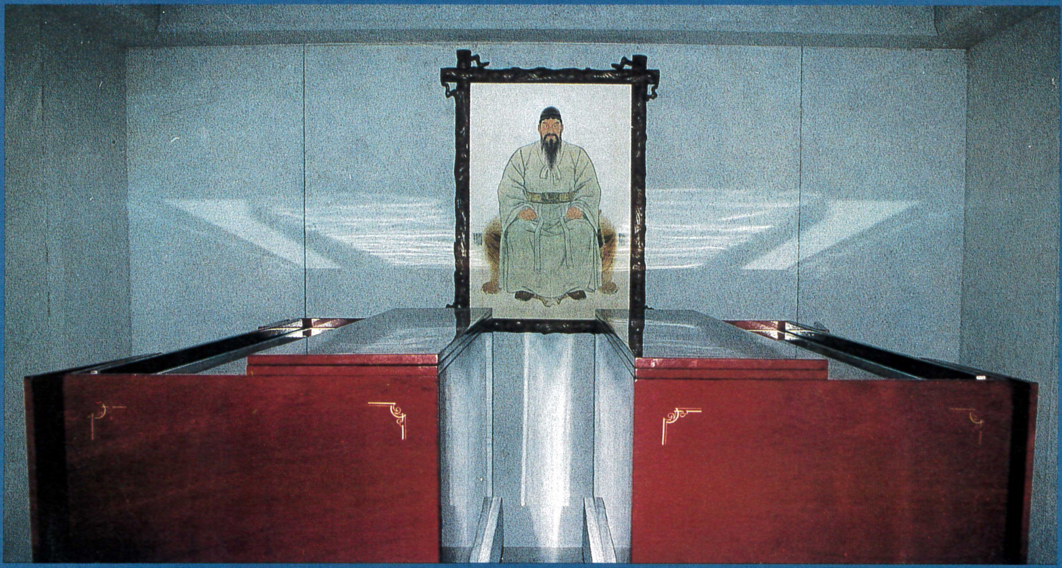
檀君陵が完成

古朝鮮の始祖王、檀君の墓である檀君陵が完成し、
現地で改築竣工式が盛大におこなわれた。

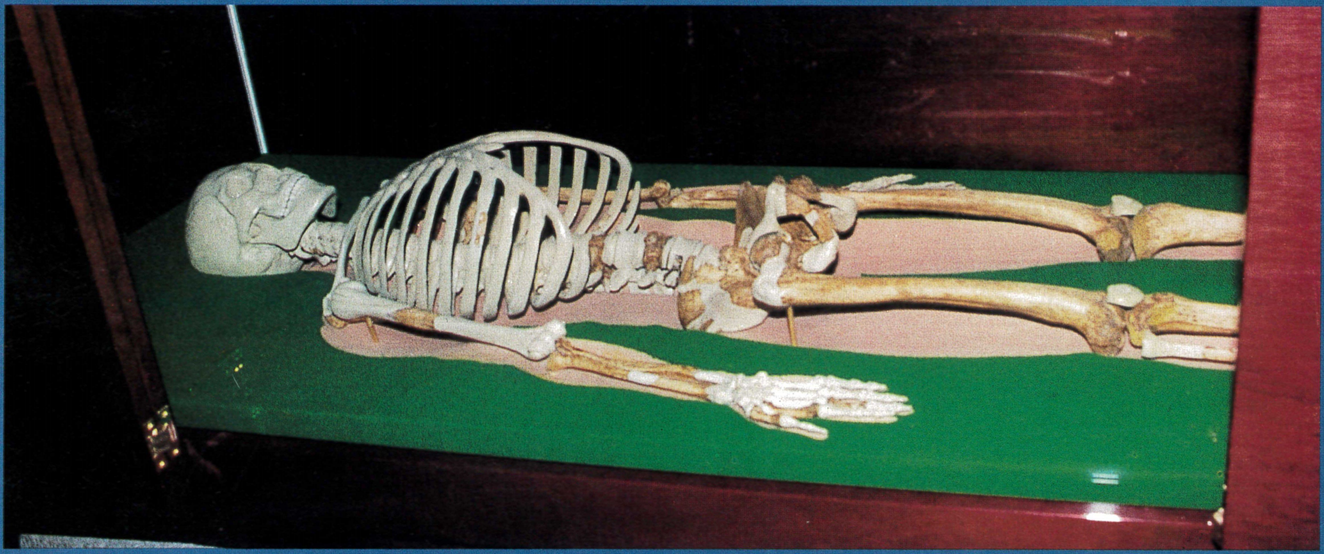
式典でのテープカット

檀君陵改築記念碑

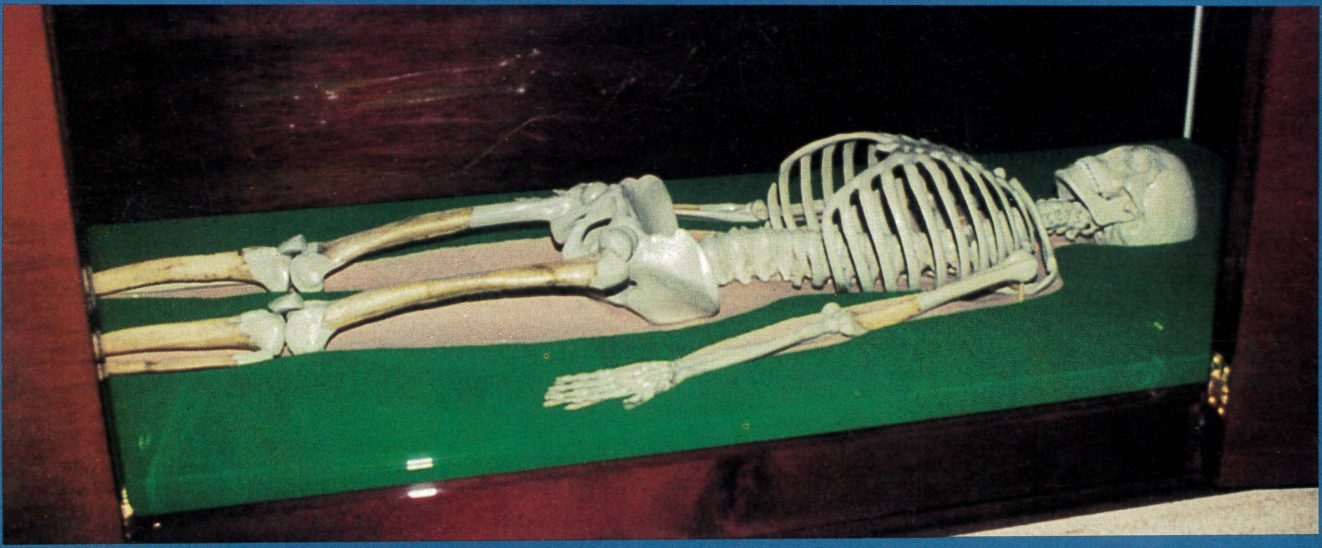
檀君陵の全景



墓室に安置された檀君と夫人の遺骨をおさめた棺



檀君(上)と夫人(下)の遺骨



悠久の歴史と単一民族の象徴

改築竣工式典は一〇月一一日、平壌（ピョンヤン）市江東（カンドン）郡文興（ムンフン）里の大朴（テバク）山丘陵に建立された檀君陵前でおこなわれた。

式典には朝鮮労働党中央委員会政治局委員である姜成山総理、李鐘玉副主席はじめ、党と国家、社会団体の幹部、学者と多数の平壌市民が参加した。また、「韓国民族民主戦線（韓民戦）」平壌代表部の李正相代表、「韓国大学総学生会連合（韓総連）」の崔晶南代表、朝鮮総聯中央の権淳徽副議長、米国ジャーナリスト文明子氏など、多くの海外同胞も同席した。

改築竣工式典の模様

姜成山総理は竣工の辞で、「檀君陵は、わが民族の悠久の歴史と単一民族の血統を輝かせようとの金日成主席と金正日書記の崇高な意志と賢明な領導の高貴な結実である」と強調、檀君陵の発掘調査と陵の改築のために講じた主席と書記の多大な指導について詳しくのべた。そして朝鮮人民は歴史に埋もれた民族の始祖をとりもどし、悠久の歴史と民族の矜持を持つに至ったと指摘、祖国統一三大原則と全民族大団結一〇大綱領の旗のもと、七千万全同胞の大団結をなしとげ、主席が生前に望んでいた九〇年代統一を成し遂げようとよびかけた。式典では、朝鮮総聯中央の権淳徽副議長、「韓国大学総学生会連合（韓総連）」の崔晶南代表、米州地域の趙デソン代表、汎民連在中朝鮮人代表崔ウンボク氏の演説のあとテープカットがおこなわれ、参加者は王陵を参観した。

竣工の辞を読む姜成山総理

大朴山麓の四五万平方メートルの墓域に建立された檀君陵は、朝鮮固有の墳墓形式である階段式石造墳墓、つまり正四角錘形式(ピラミッド型)で築造され、底部の一辺が五〇メートル、高さ二二メートルにおよぶ朝鮮最大規模の墳墓である。墳墓は磨かれた花崗岩で九段に積み上げられたが、これは古来より「九」が最高の数を意味し、天界（空）、すなわち王の居所を象徴するのにちなんだもの。墓室にはガラスケースに収められた檀君と夫人の遺骨が安置されている。

墓域には一二体の石像（夫婁、夫蘇、夫虞、夫余の四王子と重臣）が配され、陵の入り口に「檀君陵改築記念碑」と五本の門柱が建ち、朝鮮民族の始祖王陵にふさわしい威容を誇っている。

檀君はこれまで「伝説上の人物」と考えられていたが、昨年、檀君陵の発掘調査で同陵から出土した人骨の調査によって実在人物と判明し話題をよんだ。檀君が「伝説上の人物」とされてきたのは、日本の植民地時代に加えられた抹殺と歪曲の結果である。その結果、檀君は後生に創作された「神話上の人物」とする見方が定説化されていた。

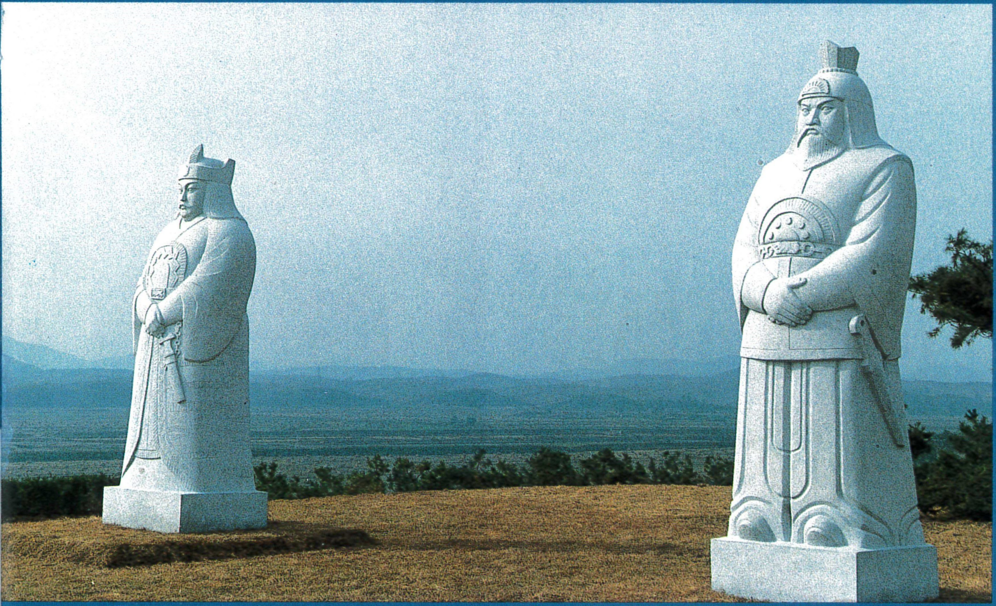
金日成主席は、檀君が民族の始祖として文献記録に記されている以上、平壌一帯に存在する檀君関係遺跡を調査すべきだと指摘、これを受けて考古学者の檀君陵と平壌一帯の発掘調査が本格的におこなわれた結果、檀君が歴史上の実在人物であることが科学的に証明されたのである。

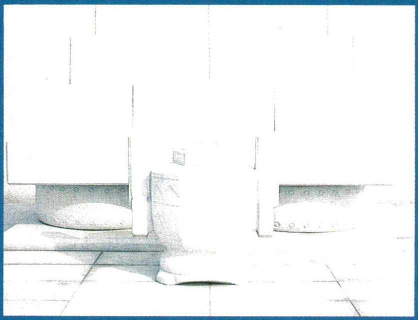
さらに関係遺跡の発掘調査の過程で、これまで古朝鮮の発祥地を中国遼東地方とする見解や、その建国年代など、これまでの古朝鮮関係史の定説を覆す新たな事実が次々に明らかとなり、注目をよんでいる。

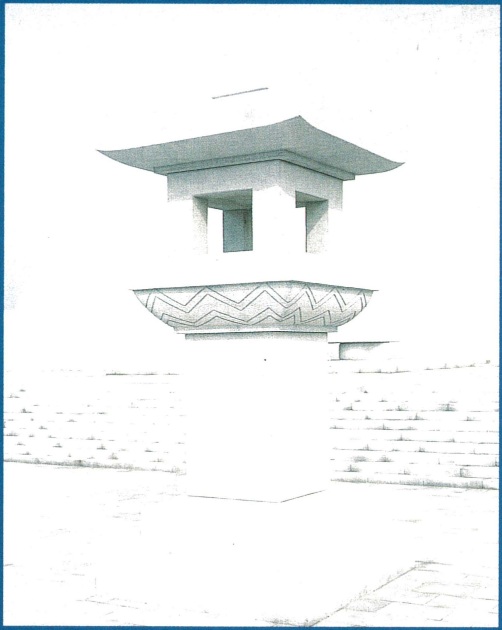
式典に参加した海外同胞

石人像(檀君の皇子)

檀君紀績碑




石像香炉


石灯

石人像(臣下)

檀君陵が完成

望柱石(左)と虎の石像

古朝鮮を象徴する琵琶型短剣をあしらった塔

門柱

優勝カップと女子サッカーチーム

努力こそが栄誉をもたらす

一般的に、優勝カップをさして努力のたまものだとか汗の結晶、勝利の象徴と呼んでいる。

九峰山のふもとにある黄海北道谷山郡ウンフン高等中学校（日本の中学と高校に相当し五年制）にかざられている数多くのカップは、文字どおりそう呼ばれてもよいものばかりである。

それらのカップのなかでも、この学校の女子サッカーチームが獲得した五つがとくに人目をひく。

チョ・ジョンバン校長の話によると、女子サッカーチームが結成されたのは今から6年前のことだという。

ウンフン高等中学校は、各学校でスポーツの種目を専門化するようにとの金正日書記の一九七四年の教えをりっぱに実践して多くの成果をあげ、「模範スポーツ学校」という栄誉ある称号を与えられた。

しかし、この学校の女子サッカーチームは無から出発したに等しかった。体育教師のリ・ソンファンさんも女子サッカーチームについては、ほとんどなにも知らないありさまであった。かれにはただ、学校でサッカーを普及し、国の女子サッカー技術水準の向上に役立つことのできる優秀な選手を養成したいというかたい決心があっただけである。

かれは女子チームの結成にあたって、選手中心主義を排除した。そしてなによりも、全校的に、教師や父母をもふくめて、女子サッカーにたいする関心をたかめることに努力した。そうしてこそ、女子サッカーの大衆的基盤をかため資質のある選手を見つけ出すことができると考えたのである。

リ・ソンファンさんは体育の授業と課外のクラブ活動をつうじて、まず低学年生徒からサッカーの初歩を教えることにした。

女子生徒たちにとって、はげしい競技であるサッカーは肉体的に負担にならざるを得なかった。学業にさしさわりがあるからといってクラブ活動に消極的な子もいたし、女子サッカーそのものに疑問をはさむ父母も少なくなかった。

それでリ・ソンファンさんは、生徒たちと父母が自発的にクラブ活動に参加できるようにするのが大切だと考えた。

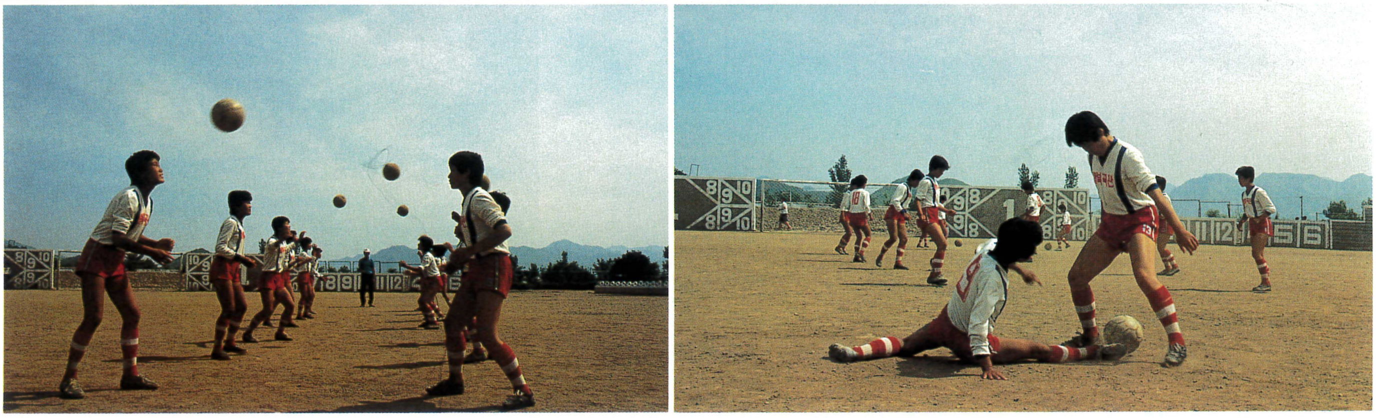
そこでかれは、まず第一に学科の成績向上をはかるために、各科目の担当教師と意見をかわし討論をかさねた。そして、父母と生徒たちに、世界における女子サッカーチームの位置と今後の発展についてくわしく説明して理解を得るようつとめた。さらに、ナショナルチームの女子サッカー選手を招いて座談会をひらいたり、練習の指導をおこなったりした。

こうした努力がみのって、生徒たちと父母たちもしだいに理解をしめしはじめ、クラブ活動も少しずつ活発におこなわれるようになった。

選手たちは、緑におおわれた九峰山の山道を走って基礎体力と闘志を

選手たちとコーチ陣は戦術について討論をかさねる

忍耐力と基礎体力をつちかうために



ヘディングとドリブルの練習

きたえていった。

理想の丘が高いほど成果は大きいものとなる。

ついに努力の実が結ばれた。

「正日峰賞」争奪サッカー大会が、一九九〇年の春にはじめて開催された。そしてウンフン高等中学校の女子チームが高等中学校の部で優勝し、優勝カップと金メダルを獲得したのである。

女子サッカーチームの優勝は教職員と生徒たち、父母と故郷の人びとを歓喜させた。

その後、クラブ活動はますます活発になった。その甲斐があって、「正日峰賞」争奪戦では、昨年の春まで三年間連続優勝の偉業をはたすことができて、三つの優勝カップと金メダルを獲得した。そのうえ、今年の春に咸興(ハムフン)市で開催された第二一回「四月一八日優勝カップ」争奪全国青少年学生スポーツ大会においても、女子サッカー部門で優勝の栄誉にかがやき、優勝カップと金メダルを授与された。

現在、この高等中学校の女子サッカーチームの名は郡や道(県)の範囲を越えて広く全国的に知られるようになった。

リ・ソンファンさんは、今年も丹精こめて育成した選手たちが卒業するが、新しい選手がたのもしく育っているので新しいチームの実力は決して見おとりがしないと、自信をもって語ってくれた。

貴石画創作家

万寿台創作社の
チェ・ソンヒさん

作品を創作中のチェ・ソンヒさん

万寿台創作社・朝鮮貴石画創作団のチェ・ソンヒさん（三二歳）は、児童向け絵画の方面でその名を知られた画家である。ちなみにチェさんは服飾デザイナーとしても一級の腕を持つ。

五歳の女の子を持つお母さんでもあるチェさんの作品からは、〝子どもの世界〟に向けられた温かいまなざしと鋭い観察力が感じられ、それが独特の個性となって絵を見る者をひきつけずにはおかない。「私にとって子どもの幸せを画面にうつしとる行為は、子どもを育てる母親の心情と一脈通ずるものがあるのです」と彼女は言う。

幼い頃から絵をかくことが好きだったチェさんは、一日の授業が終われば平壌市内の学生少年宮殿で美術の課外活動に精を出した。そこで基礎が培われ、平壌美術大学・絵画学部時代にさらにその才能を高めた。

彼女が貴石画創作団のメンバーとなってからわずか四年だが、その間に発表された作品は一五〇点を超える。『はるのあめ』、『野のはなでおけしょう』、『お月見』、『うたうおんなのこ』など一〇余点はそのうちの代表作だ。

朝鮮独自の絵画ジャンルである貴石画に、伝統的朝鮮画のテクニックを生かした新たな表現の可能性を追求してきた彼女の作品は、国内はもとより国際的にも高い評価を得ている。

『うたうおんなのこ』

『祖国の波』

『統一の舞』

『野のはなでおけしょう』

共和国訪問記

平壌の澄んだ大気と静かな朝

首藤信彦
（東海大学教授）

祥原セメント工場の従業員用住宅コンプレクス

普通の日本人にとって、今年ほど朝鮮民主主義人民共和国に関心の集まった年はない。核開発疑惑から経済制裁の是非、金日成主席の逝去、金正日書記の健康問題まで、これまで共和国にほとんど関心を持たなかった人まで、誤報・虚報までを含めて大量の情報に触れることになった。そんな中、主体科学院を訪問する武者小路公秀・明治学院大学教授に同行して平壌(ピョンヤン)を訪れることができたのは、社会科学者として大変好運であった。我々は、東京を九月一二日に発ち、北京経由で一三日に平壌に入り、一七日まで滞在した。北京ではビザ取得のために立ち寄った朝鮮民主主義人民共和国大使館で、国連（UNIDO）から委託され、縫製製品の生地のコンピューター裁断プログラムを指導に行く日本女性に会い、はからずも共和国の工業、特に縫製分野における労働意欲や技術習得水準の高さなどを聞くことが出来てきわめて有意義であった。

平壌では主体科学院のゲストハウスに泊めてもらい、李智秀院長、金得秀副院長初め多くの専門家と、冷戦後の世界情勢や主体思想の解釈、豆満江(トゥマン)プロジェクトなどに関して、有意義な討議の機会を持った。さらに労働党書記の黄長燁先生が科学院を訪問され、長時間にわたって、様々な問題について意見交換することが出来た。平壌に滞在して感銘を受けたのは、統一性のとれた都市計画、緑の多さ、そして何よりも静かな朝と澄んだ大気である。ちょうど

訪朝の二日前まで台湾の台北市に滞在していたため、特に強く感じたのかもしれない。台北では、早朝から深夜まで、洪水のようなスクーターの流れ、喧噪、そして車の排気ガスに囲まれた環境がある。現在、高度経済成長が続くアジアでは、バンコクを初め主要都市では、例外無く、車公害と都市人口過密の弊害に悩まされているが、おそらく平壌は車公害に汚染されていない唯一の都市であろう。

　今回の滞在は極めて短期間であったが、主体科学院の好意により、農業と工業を観察する機会を得た。農業分野では万景台(マンギョンデ)地区近郊の金川(クムチョン)協同農場を訪問し、管理委員長のキム・サヒョン氏から協同農場の運営と農業全般について説明を受けた。

黄長燁先生、李智秀主体科学院長、金得秀主体科学院副院長とともに

祥原セメント工場

この農場は五四年に建設が始まり、五八年に協同農場化がおこなわれたとのことである。労働者は一五〇〇名で、九班に分かれ、そのうち米に四班、家畜・野菜に五班が従事している。さらに各戸でニワトリ一〇羽を飼っており、その副業養鶏システムが全国モデルとして表彰されたこともあるとのことであった。この農場での米の生産は、一ヘクタール当たり、籾ベースで九・五トンから一〇トンの収穫があり、全国レベルでは平均的な農場であるとのことであった。今年の作付けは、夏の暑気でトウモロコシが一部被害を受けたが、米は昨年に匹敵するか、多少下がる程度の豊作であったとのことである。キム・サヒョン氏とは農場経営から最近話題の害虫：水象虫の被害まで、様々な問題を話し合ったが、常に的確な説明があり、言葉は直接通じなくても、優れた農業技術者と話している実感があった。この農場以外にも、水田を観察する機会があったが、概して豊かな実りが観察された。水田の管理も良く、ただ、川の土手、用水路、道路の際までぎりぎりのところまで稲が植えられ、水田に適した平地が少ない山間地での稲作の苦労がしのばれた。

　工場としては、平壌から車で四〇分ほどの距離にある、祥原(サンウォン)セメント連合企業体を訪問した。この工場は八三年に建設が開始され、八九年に操業、現在年間二〇〇万トンのセメントを生産し、一部は東南アジアへ輸出されているとのことである。「韓国」の現代産業グループの総帥チョン・ジュヨン名誉会長もこの工場を見学して、非常に高く評価した

水田風景

金川協同農場のキム・サヒョン管理委員長とともに（武者小路先生・筆者）

とのことであるが、ドイツKHDフンボルト製のセメントプラントは、その近代的な一貫生産システムにせよ、工場内の清潔さにせよ、世界レベルでも一流の工場だと思われた。この工場の特色は、単に生産施設ということだけではなく、川を隔てた対岸に従業員のための住居コンプレクスを持ち、また夜間大学と技能大学を付属させた、トータルな生産システムを持っていることである。このような近代工場は、私のような外国人が見学するのであるから、一種のモデル工場であろうが、それでもその工場での清潔度、労働者の規律、エンジニアの動作など、工業水準に関し評価を新たにした。

　全般的に、工業に関しては、原材料・エネルギー不足などが深刻なことは、多くの人々の言葉の端々から窺えたが、規律・習熟度も高く、国際化が進展して原材料の輸入が増加し、また本格的な輸出産業を育成する体制・条件が整えば、工業国としての発展が大いに期待できることが推察された。最大の課題は、祥原セメント工場のような旧社会主義型大工場だけでなく、成熟した工業社会において重要とされる高度技術を持った中小企業をどうやって育てて行くか、そして現在、世界経済をリードしているアジアの活性をどう取り込むかにかかっている。小生の管見にしかすぎないが、管理が貫徹しているせいか現在急激な成長をとげているアジア諸国に比較して活力が乏しいように感じられた。しかしまた、それによって平壌の澄んだ大気が損なわれないように、くれぐれもお願いしたいものである。

（「韓国」のカッコは編集部による）

金川協同農場の全景図

奈良時代の高僧―行基

朝鮮・日本の歴史と文化

◉文――朴鐘鳴（歴史学者）

家原寺　三重塔

大阪府堺市家原寺町に家原寺がある。町名は、行基創建の「家原寺」にちなんでつけられたものである。

今は、「知恵の文珠さん」として著名であり、その知恵にあやかって、女たちや、ワラにもすがりたい世の親たちの熱い信仰を集め、合格祈願の思いをこもごも書き記したハンカチや布切れで常に本堂の四面が完全にうめつくされていて大変驚かされる。

行基は、六六八（天智七）年、元来は母方の家であった現在の家原寺の地で生まれた。父親は、この地の豪族、高志（古志・高師・高石・越）才智、母親もやはりこの地の豪族であった蜂田首虎身の長女古爾比売で、その長男として出生した。

行基の墓所である竹林寺（奈良県生駒市有里町）から、一二三五（文暦二）年に行基「大僧正舎利瓶記」が発掘、発見された。八角形の石筒の中に二重の銅筒があり、内側の銅筒に「大僧正舎利瓶記」の銘文二八五字が刻まれ、その末尾に天平二十一（七四九）年三月二十三日とある。銅筒の中には銀瓶があって、その瓶の首に「行基菩薩遺身舎利之瓶云云」の銀札銘が付してあった。

「大僧正舎利瓶記」の現物（長さ約一〇センチメートル、幅約六センチメートル。ほぼ三角形状）の断片が奈良国立博物館に所蔵されていて、一八字が確認できる。

「瓶記」の全文の写しは、竹林寺の本山であった唐招提寺に報告され、同時に竹林寺にもその全文が伝わった。

「瓶記」によれば、行基は「俗姓高志氏、その考の諱は才智、字は智法君の長子なり。本は、百済王子王爾の後より出づ。その妣は蜂田氏、諱は古爾比売、河内国大鳥郡蜂田首虎身の長女なり」とその出自について記している。

行基の父方の祖先であるという王爾は、応神天皇代に百済から招かれ日本での学問の始祖として崇敬されたといわれる王仁と同一人物で、文筆記録や外交に重要な役割を果した書（文）氏の祖でもある。

この文氏は、主として河内国古市郡古市郷（今の羽曳野市古市一帯）を本貫地とし、馬史（→武生連）・桜野首・栗栖首・高志史などと分家、分派してゆくのであるが、行基はまさにこの「高志史」氏に連るのである。

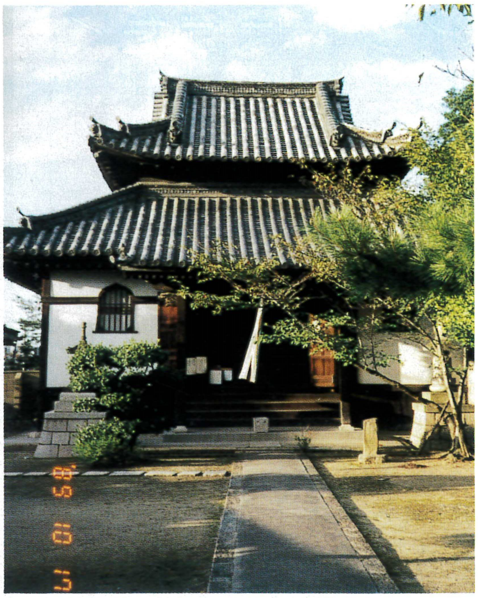
文氏の本拠地であった古市には、彼らの氏寺であった西琳寺が今も残っていて、その余映を偲ばせてくれる。

行基の父方古志氏の本拠地となったのは、現在の大阪府高石市高石一帯の地であったと思われる。この高石（高師浜）には、王仁を祭るとも伝わる高石神社が鎮座する。

母方の蜂田氏の本拠地は和泉国大

家原寺山門。行基生誕地であったのを七〇四年、父高志才智の追福のために寺に改めたもの。町名はこの寺号にちなんでいる。堺市家原寺町

鳥郡蜂田郷（今の堺市八田寺町）一帯と見て誤りない。『続日本後紀』に、和泉の人、正六位上蜂田薬師文主や従八位下安遊らの祖は百済人（八三四＝承和元年六月条）だとあり、また、『三代実録』に、正七位下蜂田連滝雄の本貫地は和泉国大鳥郡（八六四＝貞観六年四月条）とあることから見て、蜂田氏が大鳥郡蜂田郷の百済人豪族であったのは間違いのないところである。



蜂田寺（華林寺）。行基の母、蜂田古爾比売の生誕地に追福のために建立。堺市八田寺町

土塔（七二七）。大野寺のすぐ南。一辺の長さ約六〇メートル、高さ約九メートルの方錘状の土造りの塔の名残。国の指定史跡。町名もこの土塔に由来する。堺市土塔町

大野寺（七二七年）。行基五九歳の時建立。堺市土塔町

この蜂田郷の地には、行基が母の生誕地にその追福として建立した蜂田寺（華林寺）があり、また、その寺の近くに祖先を祭ったといわれる蜂田神社（鈴の宮）が鎮座する。

要するに、行基は、その父方も母方も百済系渡来人であったことが確認されるのである。

※　※　※

行基は、六六八（天智七）年、家原寺の地で生まれ、六八二（天武一一）年、一四歳で出家し、やはり百済渡来人の高僧であった道昭を師としたといわれる。七四九（天平感宝元）年二月二日、八二歳で亡くなるまで、日本の古代史上でも稀有の存在と目される巨大な足跡を残した。

当時、仏教は天皇中心のきびしい国家体制の統括下にあり、僧尼や寺院も厳重に管理されていた。行基はそれら天皇、貴族中心の仏教にあきたらず、庶民救済こそ仏教本来の姿であるとの、当時の社会にあっては革新的な立場をとり、民間伝道を強力に推し進めた。

「道俗、（行基の）化を慕いて追従する者、動もすれば千を以て数う。…（行基）和尚の来るを聞けば、巷に居人なく町や村に人々はおらなくなって、争い来りて礼拝す。……時の人、号して行基菩薩と曰う。留止する処に皆道場を建つ。その畿内に凡そ四十九処、諸道にもまた往々にして在り」（『続日本紀』行基伝）、といわれた。

民衆から「菩薩」として崇められ、救済者として行基は迎えられたが、政府は、「小僧行基、并びに弟子ら」による国家統制から離れた形での布教活動を憎み、これに弾圧を加えた。

行基は、そのきびしい弾圧にも屈せず、数々の社会事業を実施し、多数の寺院を創建した。

行基は、ほぼその一生の間に、四九の寺院を建立し、七ヵ所に架橋し、一六の池を造り、六ヵ所に溝を、四ヵ所に堀を、三ヵ所に樋を通した。さらに、九ヵ所に布施屋（民衆救護施設）を設け、摂津から河内に直道を通し、船泊り（港）二ヵ所を新に設置した。

以上のような大土木工事や多数の寺院をはじめとする建築には、朝鮮三国渡来の技術者集団（たとえば茨田堤を築いた秦氏集団、造船、建築における猪名部集団など）が深く関与していたと考えられる。

久米田池（七二五〜七三八年）。周囲約四キロ、面積約六三万平方メートルのかんがい用水池。大阪府岸和田市池尻町〜岡山町

この巨大な行基のエネルギーに対し、七三〇年頃から政府の評価は、「小僧行基」ではなく、「行基大徳」と変化する。

やがて東大寺の建立・大仏の造営が始まるや、行基の力量の利用を考えた政府は、七四五（天平一七）年正月、大僧上に任命すると同時に、百戸の封戸も授けられた。時に行基七二歳。

七四九（天平二一）年二月二日、行基は弟子にみとられながら菅原寺で没した。享年八二歳、墓所は竹林寺にある。

「舎利瓶記」は、弟子の真成がきざんだものである。

『続日本紀』の伝に言う、「…豊桜彦（聖武）天皇（は行基を）甚だ敬重し、詔して大僧上の位を授け、并びに四百人の出家を施す。…」と。

行基関連の遺跡は堺市を中心として大阪府下に多数存在し、同時に周辺の兵庫県、奈良県、京都府にも広がりを見せており、また、「行基創建と伝わる」といった類の寺院は数十ヵ所を数える。

「菩薩」として民衆から崇敬を受けたのであるから、これもまた「むべなるかな」と思われる。

ズームイン・はばたく

画家・講師・母(オモニ)と多忙

金(キム)聖(ソン)蘭(ラン)

（画家）

好きな言葉　出会い

「絵は表面に見えるものを直観的に描くんじゃなく内面を描く。だからテーマを決めるとまず、それに関する資料集めをして、そのテーマに自分を追い込み、自分自身を見つめる。主観的な自分の世界を訴える。絵には自分がでるんです」と朝鮮大学校美術科での二年間を回想する。

このころ描いていたのは職を失った女工たちの闘い、靴磨きの少年、政治犯を象徴したものなど、おもに南朝鮮問題をテーマにしたもの。

「美術とは、絵とは何か」を今は亡き恩師に享受されるが、それは彼女にとって美術の世界だけではなく、「人生を歩むうえでの礎」となる。

卒業後、青年美術家たちの息吹を込めた「民族教育の時と光―青年美術展」の開催は、彼女に「自分だけが描ける絵、地に足のついた創作」という方向性を示した。

今年二月に東京在住同胞女性たちによって初めておこなわれた、女流展「パラムピッ（風光）」で一際目立った「邂逅Ⅱ」（朝鮮画）もこういう流れの中で創作された作品の一つ。また、朝鮮を語る上で欠くことのできない高句麗壁画の四神図をモチーフに創作された連作の二作目でもある。

「青年展の時が白虎の『邂逅』で女流展の時が青龍。これらは民族、祖国との出会いを描いたもので、丘林(クリム)展（五月）の朱雀の『自問自答』は自分自身を見つめ、朝鮮人として生きて行く決意を描いたの。最後は玄武なんだけど私自身、自分を見つめ直し答えが出た時描こうと思っている」

「邂逅Ⅱ」は、彼女がオモニになり育児におわれながら仕事をし、七年というブランクから「再出発」をかけた作品だった。

「創作できないのは精神的苦痛」と無い時間から絞り出すようにして時間をつくり、創作に励む。

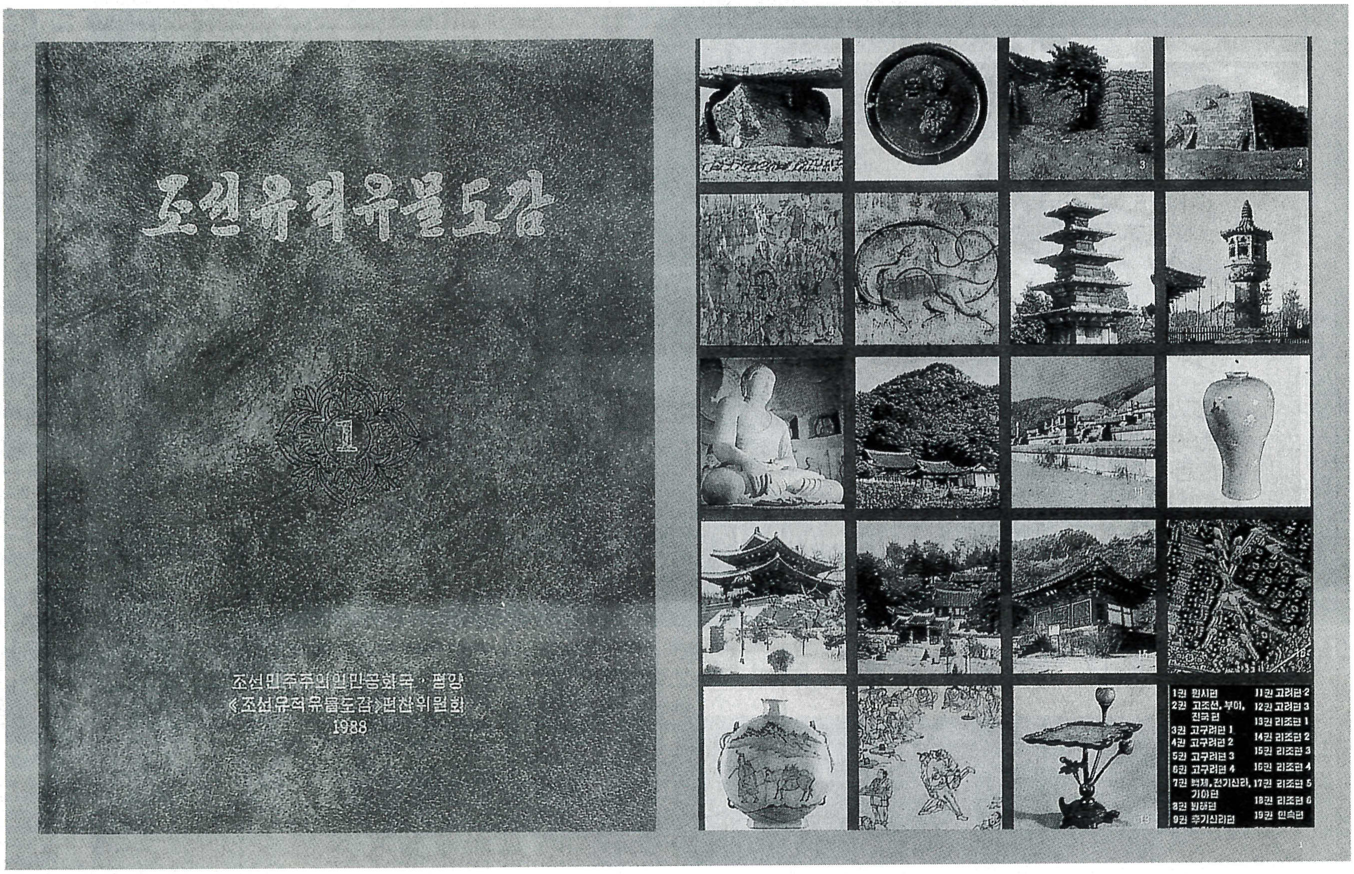
彼女が美術講師を務める東京朝鮮第五初中級学校は第三回在日朝鮮学生美術展覧会で四年連続学校賞を受賞している。

でも「学校賞を受賞したからといって美術教育の質が高いとはいえない。子どもたちを朝鮮人として誇り高く、のびのびと情緒豊かに育てる。恩師のようなこんな素晴らしい美術教育を自分はどこまでできるか」と「教育者としての資質を問われる毎日」という。

「私にとって美術教育は美術運動の延長線上にあるんです。でも創作と教育が同伴されていないのが現状でしょうね」と省みる。

これからの抱負は「画家になること。在日同胞の生活と時代を描き続ける、今この時代を描ける画家になりたい」。

（媛）



朝鮮遺跡遺物図鑑

——全20巻——

○第１巻（原始編）　○第２巻（古朝鮮、夫餘、辰国編）　○第３巻（高句麗編①—城、建築物）　○第４巻（高句麗編②—構造物、遺物）　○第５巻（高句麗編③—壁画墳）　○第６巻（高句麗編④—壁画墳）　○第７巻（百済、前期新羅、伽倻編）　○第８巻（渤海編）　○第９巻（後期新羅編）　○第10巻（高麗編①—城、建築物）　○第11巻（高麗編②—構造物、絵画、遺物）　○第12巻（高麗編③—磁器）　○第13巻（李朝編①—城、宮城）　○第14巻（李朝編②—建物、構造物）　○第15巻（李朝編③—寺）　○第16巻（李朝編④—寺、遺物）　○第17巻（李朝編⑤—磁器）　○第18巻（李朝編⑥—絵画）　○第19巻（民俗編）　○第20巻（索引）

● 好評発売中！

『朝鮮遺跡遺物図鑑』（第10巻）

高麗編①

高麗編①は、高麗王宮跡である満月台、妙香山の普賢寺万歳楼、沙里院市の成仏寺応真殿、黄海北道の燕灘心源寺普光殿、そして開城市の大興山城、平安北道から咸鏡南道にまたがる高麗の千里長城、平安北道の白馬山城門城、沙里院市の正方山城をはじめとする寺院、王宮跡、山城など高麗時代(918—1392)の建築物を特集し、カラー写真で収めた。

造本・体裁		
	判型	Ｂ４変(258×338ミリ)
	図版	全頁カラー
	写説	３ヶ国語(朝・日・英)
	上製函入	
	各項朝鮮語による解説付	

定価＝各巻23,000円
(全20巻 460,000円)

●お申し込み先＝九月書房 〒112 東京都文京区白山4-33-14 ☎03(3813)9661

問われる「国家の道義」と人権感覚

――在日朝鮮人への国民年金差別是正を――

朴三石（朝鮮大学校教員）

在日朝鮮人高齢者・障害者への明白な人権侵害である国民年金差別にたいし、国連規約人権委員会は厳しい調査結果を出した。この差別是正を求める決議を採択した自治体議会は七月末現在で二一三議会に達する。いま、日本国家の道義と人権感覚が鋭く問われている。

9月21日、朝鮮総聯代表と在日朝鮮人高齢・障害者代表らが厚生省を訪れ、井手正一厚生大臣に国民年金法の差別是正を要請した

在日朝鮮人高齢者・障害者への明白な人権侵害である国民年金差別にたいする国際的な批判が強まっている。

一九九三年一〇月、ジュネーブの国連本部で開かれた国連規約人権委員会では、日本における人権状況にかんする同委員会への第三回報告書の審査がおこなわれ、在日朝鮮人高齢者などにたいする国民年金差別制度の差別的運用の問題が、国際人権法の権威である委員らによって大きく取り上げられた。

厚生省の調査によれば、一九九三年の一年間に亡くなった日本在住の朝鮮籍、「韓国籍」の取得者は四二六八人にのぼる。そのなかで、日本の朝鮮への植民地支配の被害者であり生証人でありながら、無年金状態を強いられてきた在日朝鮮人高齢者がほとんどを占めている。

在日朝鮮人高齢者・障害者への国民年金差別問題で、いま、日本当局に問われていることは、まさに「国家の道義」と人権感覚である。

□日弁連への人権救済の申し立て

日本当局（厚生省）によって老齢福祉年金と障害基礎年金の給付対象から除外され無年金状態を強いられている在日朝鮮人高齢者・障害者のうち四八人が去る九月一四日に、日本弁護士連合会・人権擁護委員会に「国民年金法の差別適用の撤廃を求める人権救済の申し立て」を提出し、この問題への世論の関心が一段と強まっている。

国民年金制度には、この制度の基本をなす拠出制年金とともに無拠出の年金（福祉年金）がある。無拠出制度とは、加入資格と給付要件に該当しない人たちを救済するための経過措置である。日本政府は、一九五九年の福祉年金の支給や一九七二年の沖縄返還時に、この無拠出の救済措置を講じて無年金者の発生を防いだのである。

しかし、国籍条項を口実に国民年金差別を続けてきた日本当局は、在日朝鮮人高齢者・障害者にたいしては、一九八二年の国籍条項撤廃時にも、さらに八六年の年金制度改正時にも、経過措置を講ずることなく切り捨てたのである。

このため、法改正の時点ですでに国民年金への加入要件を満たせなかった、現在六八歳以上の在日朝鮮人高齢者（一九八六年四月の時点で、すでに六〇歳以上）と現在三二歳以上の在日朝鮮人障害者（一九八二年一月の時点で、すでに二〇歳以上）が無年金状態に置かれるようになったのである。

日本当局による国民年金差別によって、在日朝鮮人高齢者は年額で三八万二四〇〇円、障害者（一級）で九三万四一〇〇円の不利益を被っている（一九九四年度の老齢福祉年金および障害基礎年金の年額による）。

□法理と道理に反する国民年金差別

日本政府は、国際人権規約（A規約及びB規約）に加入した一九七九年以来、同規約によって外国人にたいしても、内外人平等の原則にもとづき社会保障政策を推進すべき責任を負っている。

日本政府が在日朝鮮人高齢者・障害者にたいし老齢福祉年金と障害基礎年金の給付対象から排除することは、「他の地位等」によるいかなる差別があってはならない（B規約二条）とした上で、「すべての者は、法律の前に平等であり、いかなる差別もなしに法律による平等の保護を受ける権利を有する」と定めた自由権規約（B規約）二六条に明白に違反するものである。

さらに、国民年金差別は社会権規約（A規約）で規定された社会保障の権利（九条）にも明確に反する。

在日朝鮮人への国民年金差別は、日本国憲法一四条（法の下の平等）、二五条（国の社会保障的義務）に照らしてみても正当化できるものではない。

「条約及び国際法規の遵守」を定めた憲法九八条にそって、国際人権規約の関連規定を順守すべきである。

□一刻も早く人権侵害の是正を

日本当局が内外の強い非難にもかかわらず、制度的差別の是正に向けて動いていない現状にあって、国が年金差別を撤廃するまでの暫定的な救済措置を講ずる地方自治体が急増している。

在日朝鮮人高齢者への独自給付を実施している地方自治体は六六を数え、在日朝鮮人障害者への独自給付措置を講じている自治体は一〇一にのぼる（別表参照）。

このなかでとくに注目されるのは、神奈川県川崎市の対応である。川崎市では、市内に住む在日外国人高齢者にたいする福祉措置は、「戦前、戦後に渡日した外国人の諸状況にたいする慰謝・激励を目的」として、「市が実施すべき性格のもの」との考えにもとづき、在日朝鮮人が九割を占める在日外国人高齢者福祉手当を支給している。

この措置の特色は、「通常、老齢福祉年金には所得制限があるが、この措置には所得制度がない。また、他の自治体で年金問題が改善されるまでの暫定的な措置として設置しているのとは違って、対象者がいる限りこの制度は存続し、国から年金が支給されても、それと重複した形で支給される」ことである（川崎市の対応の説明部分は、川崎市民生局高齢者福祉課、井野久明副主幹の談話）。

一九九四年七月末現在、日本当局に国民年金差別是正を求める意見書、決議を採択した自治体議会は二一三議会に達している。

在日朝鮮人への国民年金差別是正は、日本国家の道義と人権感覚を見極める重要な試金石となっている。一刻も早い差別撤廃が切望されている。

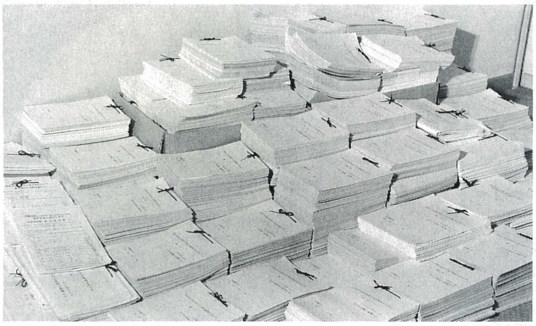
在日朝鮮人高齢者への独自の給付を実施している地方自治体(1994年8月現在)

適用市区町村数	自治体例	名目	月額(円)
神奈川県下1市	川崎市	外国人高齢者福祉手当	10,000
埼玉県下1市	深谷市	外国人高齢者福祉手当	5,000
茨城県下2市	土浦市	外国人高齢者福祉手当	5,000
福井県下7市	敦賀市	外国人高齢者福祉手当	20,000
石川県下1町	根上町	友情年金	2,500
愛知県下9市1町	春日井市	外国人高齢者手当	5,000
岐阜県下1市	瑞浪市	友情年金	20,000
静岡県下10市	清水市	高齢者福祉年金	10,000
滋賀県下8市13町1村	草津市	老齢福祉金	15,000
奈良県1市1町	斑鳩町	老齢福祉手当	5,000
広島県下2市	広島市	高齢者等福祉給付金	10,000
福岡県下2市3町	田川市	外国人高齢者福祉手当	7,000
大分県下1市	宇佐市	外国人高齢者福祉手当	5,000

在日朝鮮人障害者への独自の給付を実施している地方自治体(1994年8月現在)

適用自治体数	自治体例	名目	月額(円)
東京都下1区	葛飾区	重度心身障害者特別給付金	30,000
神奈川県下1市	川崎市	外国人心身障害者福祉手当	20,000
茨城県下2市	岩井市	外国人高齢者福祉手当	10,000
愛知県下9市2町	名古屋市	外国人心身障害者給付金	36,000
岐阜県下1市	岐阜市	心身障害者福祉金	20,000
大阪府下	大阪府	重度心身障害者特例支援事業	20,000
1府32市11町1村	大阪市	外国人心身障害者給付金	36,000
兵庫県下7市	神戸市	重度心身障害者特別給付金	36,000
京都府下1市	京都市	外国人重度障害者特別給付金	36,000
滋賀県下7市14町1村	大津市	在日外国人障害福祉金	50,000
奈良県下1市1町	奈良市	重度障害者特別給付金	20,000
広島県下2市	広島市	重度心身障害者福祉給付金	36,000
山口県下1市	下関市	重度心身障害者特別給付金	20,000
岡山県下2市	倉敷市	在日外国人障害福祉金	25,000
高知県下1市	高知市	身体障害者福祉年金	36,000
福岡県下1市2町	山田市	外国人福祉手当	15,000

9月14日、在日朝鮮人高齢・障害者48人が日弁連の人権擁護委員会に人権救済を申し立てた



今年二月から五月にかけておこなわれた差別是正を求める一〇〇万人署名運動では一八〇万余名の署名が集まった

差別の壁はなくなってはいない

無年金で放置される在日朝鮮人たち

去る九月一四日、在日朝鮮人高齢者、障害者四八人が、国民年金法の差別適用の撤廃を求めて、日本弁護士連合会（日弁連）人権擁護委員会に人権救済の申し立てを起こした。

申し立て人のひとり李用鎮さん（七二歳）は、神奈川県横須賀市でひとり暮らしをしている。

二二歳のとき、故郷の京畿道始興郡新東面良才里から徴用で日本に連行され、秋田県仙北郡神代村の夏瀬ダム建設工事に従事させられた。

そのとき受けたリンチのために、李さんは右胸の肋骨七本を失い、右肺もほとんど使えない。肺活量は一〇〇〇以下で、長く話すだけで呼吸が苦しくなる。七二年、呼吸機能障害と胸郭変形で、李さんは身体障害一級の認可を受けた。だが、障害基礎年金は支給されていない。もちろん老齢福祉年金も出ない。

李さんは以前、横須賀市役所の窓口に年金支給を願い出て、断られたことがある。

「朝鮮人にはくれないというんで、妻が日本人だったので妻の分だけでもくれといった。すると朝鮮人と結婚したからやれないという。それは国の判断か、それともお前の判断か、と聞いたら、黙っておったよ」

東京都北区で焼肉店を営む尹東基さん（七三歳）も、近所のハルモニ（おばあさん）に付き添って、区役所に年金申請に行ったことがある。

「税金を払っているということは『国民』であるということだろう。一〇あれば一〇の税金全部払わせておいて、年金になると外国人だからといってくれないのか」。そういって詰め寄る尹さんに、窓口の人間は困ったようにいった。「個人の人情としてはいうとおりにしてあげたい。でも、上がだめだというんですよ。方法は一つ、帰化しなさい。そうすればもらえます」

「冗談じゃない。やっと解放されて自分の国があり、朝鮮の本名を名乗れるようになったのに、なんのためにそれを捨てて日本人にならなくちゃならないんだ」。頭にきた尹さんはそういい捨てて、ハルモニを連れて帰ってしまった。

現行の国民年金法から、確かに国籍条項は削除された。しかし、拠出の意思を示す機会さえ奪われたまま受給資格を剥奪された在日朝鮮人にとって、差別の壁は歴然と存在する。よりよく生きようとすれば、法制度が民族を捨てることを要求する。それが「国際化」を声高に叫ぶこの国の現実なのだ。

不自由な体で続けてきた印刷業も今はほとんどできない。高齢のうえ重い障害をかかえた李用鎮さんに生活費は重くのしかかる

在日朝鮮人は植民地支配の犠牲者

植民地時代、日本に渡った朝鮮人のほとんどは、強制連行や徴用によって意思に反して連れてこられた。

「税金は払わせて年金は出さない」と法制度の矛盾に怒りを吐露する尹東基さん

土地を奪われて職を失い、生きる糧を求めて渡ってきた者も多い。

尹さんは自分が生まれてすぐ日本に働きに行った父を探して、一七のとき母と日本に来た。故郷の慶尚北道漆谷郡若木面では生活できず、大邱の母の実家に行って日本人の家に奉公したが、「わずかな飯を食わせてもらえただけで金はもらえなかったし、殴られない日がなかった」と、悔しかった朝鮮での暮らしを語る。

父は荒川で木造船の荷揚げ人足として働いていた。尹さんはおもちゃ工場、陸軍被服工場、埼玉の越谷飛行場などを転々としたが、近所の日本人たちから受けた蔑みは、亡国の民のみじめさ、悔しさをいやというほど思い知らせた。

戦後もすさまじい差別の中で朝鮮人ができる仕事は限られ、豚を飼ったり、古鉄業を営んだりしながら、子供たちを育て上げた。そしてその間、日本人と同じように納税の義務を果たしてきたのである。

徴用によって連行されてきた李さんの一生は、さらに悲惨だ。

李さんは二度徴用された。最初は一家を支える兄の身代わりで九州の炭鉱に。けがですぐ帰されたが、翌年自分の名で徴用令が来た。郡庁舎に出頭した李さんの身柄は、官幹旋によって間組（現ハザマ）の手に委ねられた。

三月の秋田は雪深く、すきま風の吹き込む飯場で薄布団一組に二人で寝た。一二時間を越える重労働。おかずは薄い味噌汁で枯れた大根の葉が浮いていた。賃金の二円六〇銭は食事と寝具代を差し引かれ、「国防貯金」に預けさせられた。通帳を見ただけで、金はついにもらえなかった。

夏瀬ダム建設用の道を断崖に作るのが仕事だった。硬い岩肌をハッパで爆破し、命綱を木にくくりつけてツルハシで岩を取り除く。仲間が谷底に落ちても、日本人の監督は「大丈夫、大丈夫」しかいわなかった。疲労と空腹と寒さで倒れれば、木刀でつつきながらどなられた。「早く起きろ、大日本帝国軍人は敵と戦っているんだ！」

ハッパの暴発事故が起きたのは、連行されて一ヵ月後だった。空中に吹き飛ばされた仲間の頭のない肉塊が目の前に落ちた。駆け寄ることも許されず、他の負傷者とともに遺体はついに飯場に戻ってこなかった。その夜、李さんは脱走を決意。駅まで逃げてつかまった李さんを、情け容赦ないリンチが待っていた。

無年金は差別以外のなんでもない

間組の飯場を転々とした後、李さんは脱走に成功し、横須賀の知り合いの飯場で自由労務者として働いた。横浜大空襲のときは仲間を助けて飛び込んだ防空壕の中で、一言も話さず隅にうずくまっていた。朝鮮人と分かって外につまみ出されるのが恐かった。

李さんがようやく診察を受けたのは、戦後一年半もたってから。横須賀の街頭で、様子がおかしいと保健所職員に呼び止められた。金具のついた軍靴で何度も蹴られた肋骨には無数のひびが入り、肋膜に水がたまって化膿していた。延べ一〇年の入院生活で六回も手術を受けた。

いま、李さんは「近・現代史のなかの朝鮮民族史を語る会」を日本人とともに続けている。生活と文字を覚えるために始めた印刷業も、七〇になってからはほとんど仕事ができなくなった。これまでの無理がたたってか、肉体的ダメージだけでなく、うつ病にも悩まされているのである。

李さんも細々とした暮らしの中で、納税の義務はきちんと果たしてきた。

「いま生活が苦しいからいうんじゃない。たとえ生活が成り立っても、日本人と平等に年金が出るのが当たり前のことなんだ。朝鮮人だから出ない、これは差別以外のなんでもない。私たちが好きで日本にきたのか。私の人生を返してほしい」

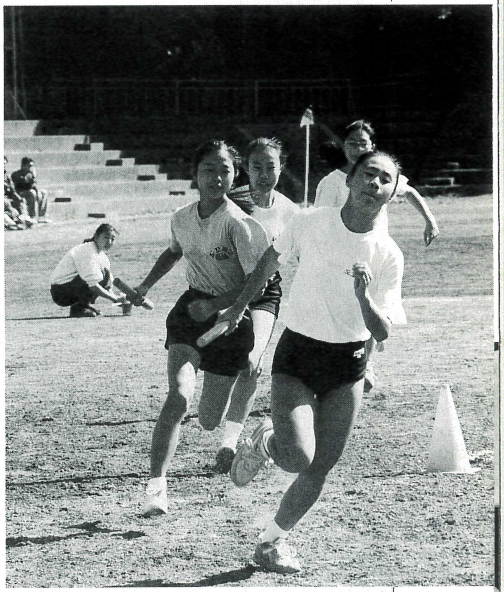
植民地支配という日本の国策が、在日朝鮮人という存在を生んだ。辛酸をなめた多くの在日一世たちが、一切何も報われず、無年金のまま社会の片隅に打ち捨てられ、この世を去っていった。

奪われた人生の代償は、福祉という次元においてさえ、いまだ支払われてはいない。

日頃、運動不足気味の同胞も一般リレー競技で皆〝ジョイナー〟に変身!?

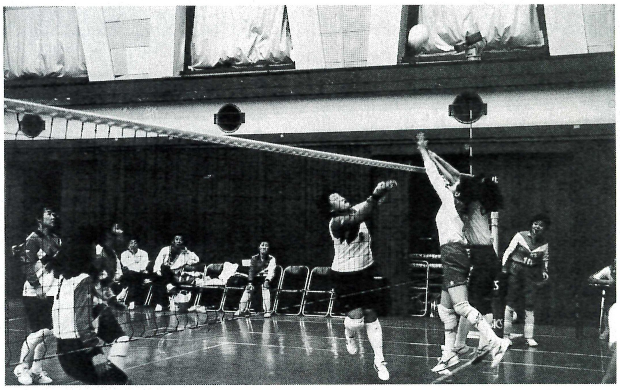
秋晴れに心地よい汗

そのままトライだ！　ＧＯ！　ＧＯ！



対校リレー、全力疾走する学生たち

ジャンプ・シュート！「そうはさせないぞ！」



日頃の練習成果をボールに込めて…アタック！

東京同胞大運動会

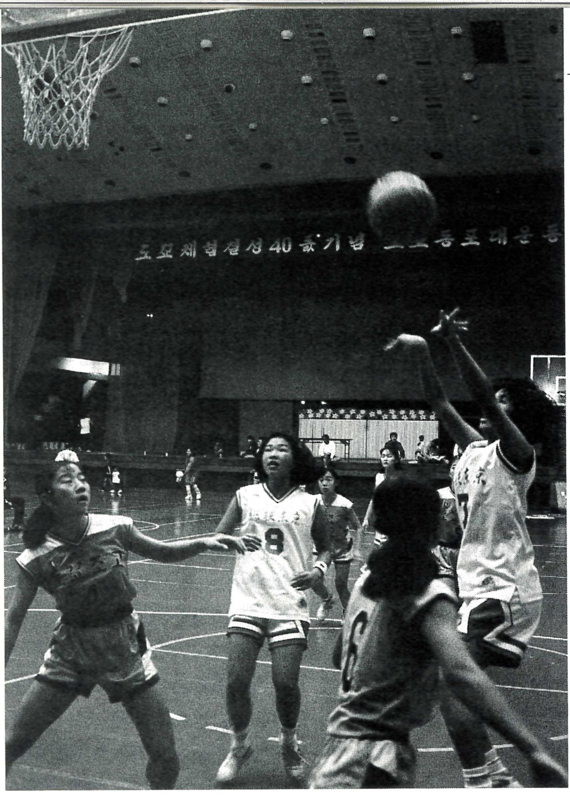
在日本朝鮮人東京都体育協会結成四〇周年記念、東京同胞大運動会が一〇月二三日、東京都北区にある東京朝鮮中高級学校運動場と朝鮮文化会館で盛大におこなわれた。

この日、スポーツするにはおあつらえ向きの秋晴れに参加者らは心地よい汗を流し、有意義な一日を過ごした。

朝八時からの足立・千里馬（チョンリマ）チームと荒川・白頭山（ペクトウ）チームの野球試合を皮切りにスタートした同運動会。

早朝で観戦客の姿もちらほらと少しさびしい気がしないでもなかったが両チームとも全力をだしきっての試合に大いに盛りあがった。

一〇時三〇分、開会式がおこなわれ、つづいて東京都下の各朝鮮初中級学校生徒たちによる対抗・リレー、縄跳び、静かなブームを呼んでいる朝鮮シルム、東京総聯籠球団対東京朝高バスケットボール部の試合、足立、練馬、大田、葛飾、中央江東支部のオモニたちのバレーボール対抗試合など運動場と文化会館で各種競技の熱戦が繰り広げられ、大いに盛りあがった。



入れ！　シュート（東京朝高対東京総聯籠球団）

ナイスカット！（東京朝高対東京蹴球団）

「こうなるとアタリになるんだよ」囲碁を教わる少女たち。将来は女棋士かな

静かなブームを呼んでいる朝鮮シルム。ちびっ子から大人まで大興奮

「オイ見ろよ！」観戦者たちの笑顔も絶えない

「キムチもクッパプもあるよ」教育会オモニたちもはりきる

5年間の成果がこだまする統一の歌

大阪生野西地域オモニ(母)コーラスサークル「コール・アリラン」(韓洋子代表、メンバー20人）の結成5周年を記念し、去る10月12日、大阪上六の近鉄小劇場で第１回演奏会がおこなわれ、同胞や日本市民、500余人が観覧した。同サークルはこれまで関西合唱コンクールでのサファイア賞２回、奨励賞１回を受賞したほか府合唱祭など数々の音楽祭に出演、朝・日親善と朝鮮歌謡の普及に努めてきた。

重唱「山へ海へ行こう」でオープニング。「故郷の春」や今公演のための新作オリジナル曲「風のメロディー」など見事なハーモニーで歌い、喝采を浴びた。

演奏会には大阪朝高・声楽部と民族器楽部、大阪文芸同の舞踊部が賛助出演。それに、昨年同胞の集いで初めて共演したのをきっかけに、交流が深まったソウルのオモニたちの「ウリハナ合唱団」が友情出演し、フィナーレでは合唱。最後は出演者、観覧者共に「われらの願い」を大合唱し、最高潮に盛りあがった。

都道府県レベル大会に初めて正式参加

東京都中学校体育連盟（東京都中体連、池田漻会長）が10月18日、東京都内の朝鮮中級学校の都大会参加を正式に認めた。都道府県レベル大会への朝鮮学校の参加を認めたのは初めてのこと。

「互いに立場は違っても独立した学校として学生たちの間で交流を深めていこう」という基本方針にしたがって全国大会、関東大会につながらない東京都大会に限って朝鮮学校の参加を認めたもの。

去る３月３日、朝鮮学校の代表が「東京都中体連下の大会に参加して技術向上と互いの親睦を深めていこう」との要請に東京都中体連が応じ、この度の決定に至った。現段階では春季大会と秋の新人戦大会に出戦できる。

東京都中体連の決定は朝鮮学校の中体連正式加盟の突破口を全国的範囲で大きくあけた歴史的一歩前進といえよう。

第１回東日本囲碁大会

去る10月２日、第１回在日本朝鮮人東日本囲碁大会（在日本朝鮮人囲碁協会主催）が東京千代田区の日本棋院会館でおこなわれ、13～82歳まで、110余人の同胞愛好家が対局を楽しんだ。

この日、無差別部門（勝者戦式）、４・５段部門、３段部門、２段部門、初段部門、級位部門別にスイス方式でおこなわれた。

愛好家たちは同胞専門棋士・車昇９段と宋光復７段との指導対局を楽しんだ。また車昇９段の無差別部門決勝戦解説は好評を博した。戦績はつぎのとおり。

一無差別部門	1	奇宇好(神奈川)
	2	韓述龍(東北)
	3	盧鳳煥(千葉)
一4・5段部門	1	柳連泰(西東京)
	2	陳正宇(埼玉)
一３段部門	1	車次燮(東京)
	2	姜寿福(西東京)
一２段部門	1	金昌鎬(埼玉)
	2	李勝春(千葉)
一初段部門	1	金玟全(埼玉)
	2	姜イルク(西東京)
一級位部門	1	孫基鉄(埼玉)
	2	姜忠鎬(西東京)

第４回オモニ中央大会

第４回在日朝鮮オモニ中央大会が10月22日、東京朝鮮文化会館(東京都北区)でおこなわれた。北は北海道から南は九州までの日本全国のオモニたち1225人が一堂に会した。

この日、大会開会に先立ってピアノ演奏とビデオ「朝鮮の未来を育むオモニの愛」が上映された。大会開会後、共和国から送られた祝電が紹介され、つづいて社会党岡崎トミ子衆議院議員の来賓あいさつと朝鮮総聯中央李珍珪第一副議長のあいさつのあと、在日本朝鮮民主女性同盟徐子連委員長が報告をおこなった。昼食後、埼玉朝鮮幼稚園と北関東歌舞団による小公演があった。大会が再開され東京都教職員組合から２人の来賓のあいさつのあと、９人のオモニたちが民族教育を強化発展させるうえであげた成果と経験について討論。若いオモニたちと学校、権利擁護運動と密着した討論で聞いていたオモニたちはパワーアップしたに違いない。

東京中体連役員から参加認定に関する説明を聞く朝鮮学校校長ら（右）

13～82歳まで対局を楽しむ

いつも頼りにしてます。オモニたち！

第4回平壌映画祭開かれる

第4回非同盟及び発展途上国平壌(ピョンヤン)映画祭が9月26日から10月4日にかけて開かれた。

同映画祭は非同盟諸国首脳会議と非同盟及び発展途上国の教育・文化相会議の決定にもとづいておこなわれているもので、1987年から数年ごとに開催されている。

今回は世界40余ヵ国から出品され、最高賞の「松明賞」金賞は記録映画部門でエジプトの「かかし」が、劇映画部門ではベトナムの「葦原」がそれぞれ受賞した。また、朝鮮総聯が出品した「総聯が歩んだ栄光の道」が記録映画部門で銀賞を受賞した。

9日間の開催期間に、映画祭に出品された作品を上映した平壌国際映画会館をはじめとする市内の映画館は連日超満員となり、熱気であふれた。

同映画祭は、自主、平和、親善の理念のもとに非同盟運動の強化発展と世界の進歩的映画人の親善団結を図ることをその目的としている。

檀君・古朝鮮に関する第2回学術発表会

檀君及び古朝鮮に関する第2回学術発表会が、10月5日から7日にかけて、平壌の人民文化宮殿で開かれた。

発表会には社会科学院の金錫亨院長、朴時亨氏はじめ院士、教授、歴史学、考古学、語文学部門の学者、大学教員らが出席した。

また「韓総連」代表の崔晶南祖国統一汎民族青年学生連合(汎青学連)共同事務局長(ソウル大生)が参加した。

さらに、朝鮮総聯中央・権淳徽副議長を団長とする在日本朝鮮人代表団はじめ、「在日韓国人協会」の金里博会長、米州自主思想研究所の金賢煥部長ら海外同胞が招かれた。

発表会では金日成主席が昨年9月におこなった檀君と古朝鮮に関する研究を深めるうえでの教えを高くかかげ、この1年間、共和国の学者が集中的におこなった平壌一帯の古朝鮮遺跡調査発掘と研究活動で収めた27件の論文が発表された。

党創建記念碑が建立される

来年の朝鮮労働党創建50周年に際して、平壌に党創建記念碑を建てる計画が進められている。

記念碑は万寿台(マンスデ)丘の金日成主席の銅像を正面に見る大同(テドン)江べり紋繍(ムンス)街に25万平方メートルの敷地で建立される。

記念碑は直径70メートルの円形の土台と直径50メートル円筒型構造物の上に労働者、知識人、農民を表す手がハンマー、筆、鎌をそれぞれ掲げている形をしており、高さは50メートル。

金正日書記は党と国家、軍の全般活動を指導するなかで数回にわたり党創建記念碑の図案を検討し、主題思想と内容について指摘された。

9月30日、現地で党創建記念碑建立のための着工式がおこなわれ、姜成山総理、桂応泰、韓成竜両党書記はじめ党と政府の幹部、関係者が参加した。

江原道に愛国果樹園

江原(カンウォン)道高城(コソン)郡の雲田(ウンジョン)協同農場で9月25日、愛国果樹園の開園式がおこなわれた。

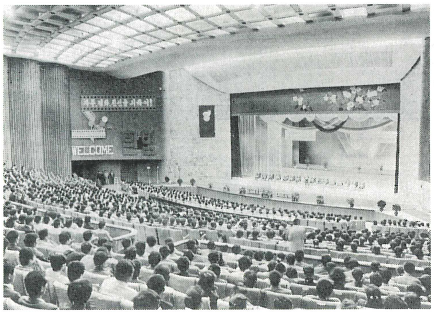
開園式には、林亨九・江原道党責任書記兼人民委員会委員長、金成竹・江原道農業委員会委員長ら当地の関係者と農場員のほか、金時鎮委員長をはじめ共和国を訪問した朝鮮総聯西東京本部管下の在日朝鮮人約60人が参加した。

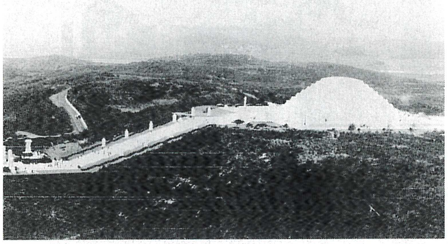
協同農場のリ・ジョンギル管理委員長は「在日同胞の愛国心は本当にたいしたものだ。私たちはこれからも同胞たちから送られた木を心を込めて管理し、最初の果実を必ず金正日書記に贈るでしょう」と語った。

愛国果樹園は、西東京在住朝鮮人が5年間にわたり祖国に送り続けた柿や桃、梨の苗木を育てて造った果樹園で、面積は40ヘクタール、果樹の本数は1万3000本に及ぶ。

同果樹園では今年、試験的な収穫をおこなったが来年、本格的な収穫を迎えることになる。

平壌映画祭の開幕式





竣工した檀君陵の全景

愛国果樹園の開園式のもよう

バザーと朝・日友好文化交流の集い(新潟)

新潟朝鮮初中級学校（金鐘海校長）で10月９日、同校オモニ会と「朝鮮学校を支援する新潟県民の会」の共催による「バザーと朝・日友好文化交流の集い」がはじめて催された。

この日の催しには県下各地から同胞200余人と日本市民500余人が同校を訪れた。

バザー会場となった同校の体育館は10時の開始から終わりまで大盛況のまま幕を閉じた。

また正午から運動場で催された文化交流会では同校児童・生徒の民族舞踊や、同校と交流を深めている山の下中学校・吹奏楽部と浜松太鼓保存会の演奏、そして金剛山歌劇団の団員らも駆けつけ民謡などを披露した。

その後、焼肉パーティーが開かれた。

フィナーレでは参加者全員で「朝・日友好の歌」を歌いながら、友好親善を呼びかけるなど、雰囲気は最高潮に盛り上がった。

日弁連代表東京朝高を訪問

日本弁護士連合会（阿部三郎会長）の鈴木孝雄、平湯真人、矢花公平の３氏が10月11日、東京朝鮮中高級学校を訪れ、教育実態調査をおこなった。

昨年１月、在日本朝鮮人教職員同盟中央本部及び在日本朝鮮人中央教育会から、朝鮮学校生徒らの人権擁護と朝鮮学校の処遇改善についての申し立てを受けた同弁護士は現在まで政府に認定を訴えるべく朝鮮学校の実態調査を積極的におこなっている。

一行は高３の国語（朝鮮語）などの授業を参観した後、生徒４人と懇談会をおこなった。

平湯氏は「資格制限が生徒らの重みになっている」と述べ、矢花氏も「生徒らが受けている精神的な屈辱感を改めて感じる」とし、処遇改善に尽力したいと語った。

鈴木氏は「差別を受けながらも母国の文化を守っていることが生徒らのさわやかさにつながっている」と語っていた。

日本製薬会社社長が長野初中に図書券を寄贈

長野朝鮮初中級学校に日本のキッセイ薬品工業（本社・松本市、神澤陸雄社長）が10月５日、50万円相当の図書券を寄贈した。

キッセイ薬品工業は第３回表彰会社に選ばれ、去る９月20日東京証券取引所の表彰を受けた。

この会社は企業の発展を機会に常日頃惜しみない協力をしてくれている地元地域に感謝を表したいとし、工場の近くの長野初中に図書券を寄贈することにした。

神澤社長は「朝鮮学校は教育法第１条校に該当しないがそれと変わらぬ教育を実施している」とし、直接同校を訪れ学生代表に図書券を手渡した。

同校生徒はこれに対して感謝の意を表し、これからも地域の日本学校との交流や、日本市民との親善交流を引き続き深めていくと述べた。

どうぞ読んでください

朝米会談が再開され朝鮮民主主義人民共和国と米合衆国間の基本合意文が10月21日、ジュネーブで発表された。この間、日本のマスコミでは共和国の「核疑惑」問題が執拗に報道されチマ・チョゴリを着て通学する女子学生への暴行、暴言へとつながっていったことは周知の通り。

この度、チマ・チョゴリへの暴力を許さない８・２集会実行委員会では、日本の社会と一人一人の心のなかに根をおろしている差別の解消に役立てればとパンフレット、「記録・チマ・チョゴリへの暴力を許さない８・２集会」を刊行した。このパンフレットは去る８月２日に開いた同集会での被害者である在日朝鮮女学生と被害者のオモニ（母）、教師らの証言や福島瑞穂弁護士の講演、被害者への集会参加者のメッセージなどを事細かに記録したものである。

●販価１冊400円
送料10冊以上無料
☎03(3812)3865（事務局）

賑わったバザー会場

図書券を受け取る代表

パンフレット「記録・チマ・チョゴリへの暴力を許さない８・２集会」

38度線に軍事都市建設

金泳三「政権」の軍事対決路線があらわになる中、軍事境界線付近に戦争準備の一環として軍事都市建設を進めていることが明らかになった。この衝撃的な事実は、9月26日、民主党の金玉川議員によって「国会」で暴露された。

この軍事都市はソウルの北方27キロ、軍事境界線に25キロの京畿道高陽市内に位置する「一山新都市」。1989年から96年の完成めざしベッドタウンとして着工を開始し、すでにアパート4棟の入居が完了している。

だが、この都市は一度指令が下されば即座に大量の攻撃用兵器と部隊を投入し、北侵作戦を展開するための前進基地に一変出来るよう①市街地の道幅は南北は狭く東西には広く取る②重要地点に戦闘施設、火器陣地を設ける③建物の配置は軍事作戦を考慮し、東西方向に建設する—事を基本に建設されている。南朝鮮当局の軍事対決姿勢に変化がない事がわかる。

激しさ増す新公安政局

5月から始まった「韓国版マッカーシズム」と呼ばれる反体制統一勢力に対する弾圧＝「新公安政局」の嵐は、9月以降も吹き荒れさらに激しくなっている。

この3カ月間で約400人にも上る労働者、学生、市民、学者たちが「国家保安法」違反容疑で令状なしに逮捕、連行されているが、10月に入っても30数人のベルリン留学体験を持つ大学教授が「北のスパイ容疑」あるいは「接触容疑」で連行された。

すでに、大学の教材まで問題視し弾圧を加えるなど、その範囲は拡大される一方だが、今回のように教授が大量に連行されたのは初めてのことで、「文民ファッショ」と厳しい抗議を受けている。

また、金泳三「政権」に対する批判を続けている漢陽大学の李泳禧教授ら、活発に活動する民主人士に対し、査察と呼ばれる日常監視をつづけている事実も暴露された。

金日成主席の逝去100日合同祭—北米朝鮮協会など

朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席の逝去100日に際し、10月15日午後7時30分から「新韓民報社」で北米朝鮮親善協会、米州高麗商工人連合会、高麗女性商工人会による合同追悼祭がおこなわれた。

祭壇には金日成主席の遺影が置かれ、献花の後、黙とうが捧げられた。

合同祭では、米州高麗商工人連合会のチョン・ム会長が追悼の辞（別掲）と北米朝鮮親善協会カナダ本部のキム・テジョン首席議長の追悼詩が朗読され、金日成主席の海外同胞らへの「語録」が紹介された。

合同祭参加者たちは、世界の傑出した偉人である金日成主席に哀悼の意を表するとともに、主席の遺訓を掲げ金正日最高司令官を戴き祖国統一実現のため全力を尽くそうとの決意を新たにした。

合同祭は、「金日成将軍の歌」の合唱で終った。

合同祭で朗読されたチョン会長の追悼の辞（要旨）

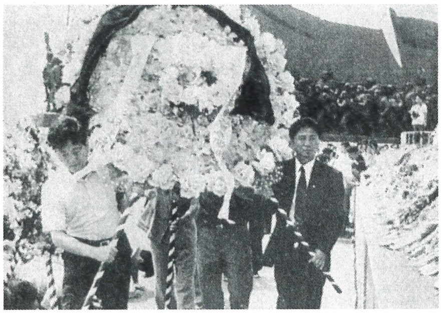
金日成主席が祖国と人民のために一生を捧げ我々のそばを離れてから今日で100日を迎える。主席の逝去は朝鮮民族の悲劇であり悲しみである。

故金日成主席は、人民の自由と幸福のために、社会主義偉業の勝利と強化発展のために、世界人民の平和と親善のために全生涯を捧げ、朝鮮民族の歴史と人類の歴史に永久不滅の偉大な業績を残した。

敬愛する金日成主席は、チュチェ思想を創始具現し、祖国の自主的平和統一のための「高麗連邦制統一方案」と「民族大団結10大綱領」を提示し、北、南、海外同胞を民族的団結と統一実現へと奮い立たせた。

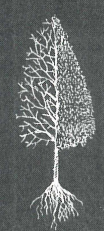
金日成主席は祖国統一とチュチェ偉業の完成を見ずに亡くなったが、偉大な継承者であり卓越した指導者である金正日最高司令官がいることは、朝鮮人民にとって光栄であり幸せと言えよう。

抗議声明を発表する「民主化のための全国教授協議会」所属の教授たち

主席の銅像をおとずれ、哀悼の意を表す海外同胞


主席の逝去に悲しみをこらえきれない海外同胞

ぱらむ 風



凶悪犯罪の背景にあるものは?

社会を震撼させる事件が連日、南朝鮮で起こっている。

六名の若者が五人を誘拐し殺害した「至尊派」事件、元運転手が盗んだタクシーを利用して二人の女性を拉致して殺害した事件など、これまでに類例のない凶悪事件が起こり人々を恐れさせた次には、ソウルの漢江(ハン)に架かる聖水橋(ソンス)が落下して数十人が死亡、その数日後には忠州湖(チュンジュ)で観光船が火災を起こして同じく数十人が死亡するという事件が起きている。「至尊派」事件は、逮捕された容疑者たちが悪びれる様子もなく、テレビのインタビューで「あの世に逝っても金持ちをのろってやる」「残念だ、生まれ変わってもまたやる」などと公言して二度、人々を驚かせた。

また聖水橋の落下事故は、地震などによるものではなく、「手抜き工事」と「手抜き検査」によるまったくの人災で、「文民大統領」は「誠に遺憾だ」と謝罪に追われ、「法の番人」である「法務部」は一年一〇ヵ月ぶりに一挙に一五人もの「凶悪犯」に死刑を執行して「見せしめ」つくりに躍起となっている。

マスコミは「犯罪共和国白書」「悪魔性犯罪はどうして起こる」などの企画を組み、事件の概要を伝えるとともに、事件の「本質」の解明に紙面を割いている。

「貧しき者を無視する者たちをみな殺したかった。はじまってすぐにここで終わるのが残念だ」との「至尊派」事件容疑者のひとりの言葉がこれらの事件が生まれる社会的背景を端的に物語っている。

事件をめぐる論議の中では「人間軽視の社会風潮の典型」「出世中心の教育風土」「社会の指導層の中の模範の欠如」などが指摘され、長年にわたって蓄積された社会構造の歪みが一挙に噴出しているとされているが、いわゆる「経済成長」の影で貧富の格差が広まり、少数が社会的富を謳歌する一方で多数が貧しさにあえぐという社会構造がこの種の事件を生み出す温床となっている。

ある新聞は「オレンジ族」と呼ばれる財閥二世の若者と一般庶民の生活費を次のように対比して報じている。一方が小遣いが五〇〇万ウォン~一〇〇〇万ウォン、夕食代が二〇万ウォン、カラオケに四〇万ウォンを使い外車を乗り回しているとき、一方では一月の収入が四五万ウォン、ここから田舎に一五万ウォンを仕送りし、部屋代に七万五〇〇〇ウォン、生活費に一〇万五〇〇〇ウォンを使うと、小遣いとして使えるお金は五万ウォンがやっと。

「至尊派」事件の主犯とされる金ギファンは逮捕の直前に書き残した手記の中で「貧しい者は牛や馬のように働き死んで行くのが現実だ。……この国は民主主義国家であり資本主義国家だ。ともすると民主主義国家がいいように思えるが、一方では資本主義制度の矛盾によって貧富の格差が日を追って深まり、資本が一ヵ所に集中する現象を招く」と書いている。この手記をマスコミは社会に対する「宣戦布告文」だと指摘し「資本主義―韓国が解決すべき課題が何であるかを物語っている」と報じている。

むろん、彼らの犯罪は許されるものではない。しかし「単なる凶悪犯罪」とするのには、あまりにもこれらの事件の抉ってみせたものは深く、大きいといえよう。

(星)

キーワード

メイキング・オブ・コリアン・イメージ

日本のマスコミの国際報道の情報量というのは、諸外国に比べ極端に少ないといわれる。たしかにいくつかの大国のことは連日報じられるが、世界のほとんどを占める小国、第三世界については、紛争とか飢餓でもないかぎりまず取り上げられることがない。いきおい、これらの国々に住む人たちのイメージは偏ったまま、一人歩きする。

今年一年、日本マスコミ界では「北朝鮮」報道が花盛りだった。そこに描かれた「北朝鮮」は、謎の国、テロ国家、秘密のベールなどと、何とも訳のわからぬものが多かった。

もしテレビがおきまりのキム・イルソン広場の軍事パレードの資料映像を、やはりパターン化された反朝鮮的論評とともに、たえずくりかえし伝えるなら、真の朝鮮の状況に対する人々の判断は歪められてしまうだろう。それは世界の前で日本人を盲目にするのに役立つし、等身大の朝鮮から彼らを遠ざけ、その目をくもらせてしまうだろう。ニュースは、あるのではなく、作られるのである。

それにしても私たちはいつまで、一部マスコミが作りあげたフィクションの「北朝鮮」につきあわされねばならないのか。

彼らが歴史的に積みあげ、その歪んだプリズムを通して見た「北朝鮮」、彼らの主観として見た悪の権化としての「北朝鮮」、彼ら自身のかつての侵略の原罪意識から、その不安から描きあげた実物以上の恐怖の「北朝鮮」イメージ。それは冷戦の一方の側に久しく身を置くことで(すなわち、朝鮮を統一のものとして見ない考え方に安住することで)三八度線以北の人びとの運命には関心をもたなくなり、あげくにはその実体がいまではまったくわからなくなってしまった「知的難民」の情緒不安定状態をものがたっているようだ。

最近、なぜ北朝鮮だけを「朝鮮民主主義人民共和国」といちいち正式に書かねばならんのか、どこの国名でもみな省略形を使っている、「北朝鮮」だけでいいではないかと、腹にすえかねるといわんばかりの「文化人」がまたぞろ現われた。

朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌

百歩譲ってその人たちの立場に立ってみよう。彼ら「文化人」は朝鮮半島を二つに分けて考えている。ならば、南半分を「韓国」と省略するように北半分も頭だけ取って、「朝鮮」と略せばよい。それじゃ半島全体の名称とごっちゃになってまぎらわしい、どうしても二つに分断して北半分だけを別に呼びたいとダダをこねるなら、仕方ない、それでは「北朝鮮」などというただの地域名での失礼な呼び方はよして、やはりあの長たらしい正式名称で表現するしかあるまい。投げつけた非難のボールは自分に返ってくるのだ。隣国の名前を正しく呼ぶことがそんなに大変で、苦しくて、嫌ならば、朝鮮半島分断の責を自らに問い、その上で統一の方向へと手助けしてやることこそが最良の解決法だろう。そうすれば呼称の問題も簡単に収まる。

いずれにしろ、自分たちの都合にあわせて朝鮮を見るのでなく、「朝鮮人のための朝鮮」として眺める姿勢が望まれる。

(高演義)

東アジアに隆盛を誇り、すぐれた文明を開花させた
高句麗文化の精髄をなす古墳壁画の代表作を網羅した
世界で初めての本格的画集

本書の特色

●**高句麗壁画の代表作を体系的に網羅・集大成した、世界で初めての本格的画集**
高句麗壁画古墳中、その代表的な壁画を残さず網羅した世界で初めての本格的な画集。古代東アジアに栄華を誇った高句麗の秀れた文化の精髄を知り得る最良の書である。

●**本書刊行のために特別撮影した最新のオリジナルフィルムによる総カラー図版**
朝鮮民主主義人民共和国の格別の好意によって特別撮影したオリジナルフィルムで悠久な時代を経た壁画の深みと質感を忠実に再現した。

●**最高の印刷技術を駆使した最高のカラー図版**
日本で最も精度の高い製版、印刷技術と、壁画の深い味わいと色感、質感の再現に細心の考慮をはらい高級紙を使用した美しいカラー図版です。

●**豪華で堅牢な愛蔵書**
上製豪華貼函と外函を使用し、観賞性と耐久性をあわせて考慮した、豪華で堅牢な愛蔵版です。

造本体裁	**判形**／A３版　**表紙**／上製クロス装箔押　**外装**／豪華函入・堅牢函付き　**図版**／260余点総カラー280頁　**解説**／主要高句麗壁画古墳の主人公について・朱栄憲(16頁)**図版解説**／10頁

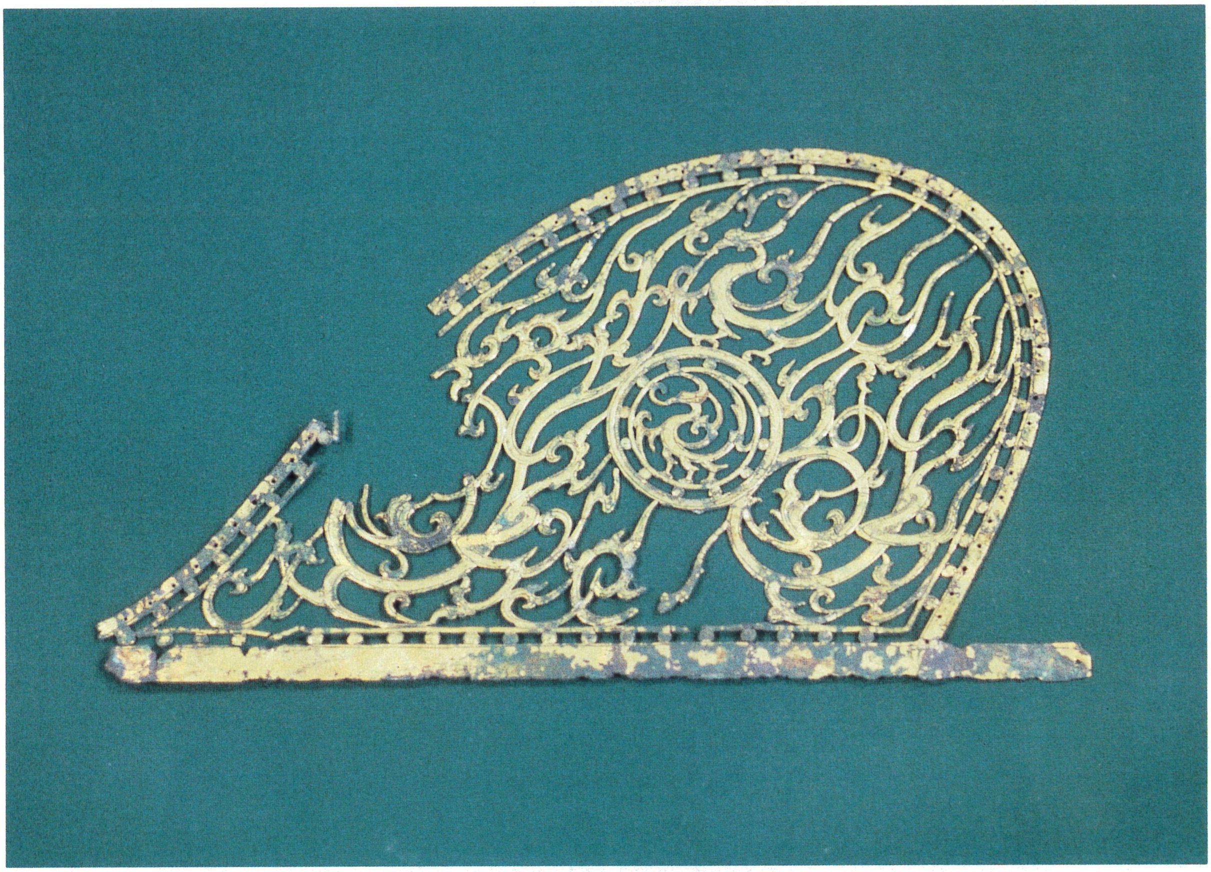
いま神秘のベールを脱ぐ古代東方美術の源流

高句麗古墳壁画

高句麗壁画古墳の全貌を撮影——世界初刊行

発行**朝鮮画報社**　**定価＝70,000円**税込

〒112 東京都文京区白山4-33-14　☎03(3813)7521(代)FAX03(3813)7524
振替口座 東京2-410608番　お申し込み◆お近くの書店でご注文下さい。
または、小社へ直接お申し込み下さい。(送料は弊社負担)



日像透彫金銅装飾

（三国時代・高句麗）
朝鮮歴史博物館所蔵

気韻生動、みなぎる躍動感

平壌（ピョンヤン）郊外にある高句麗始祖王の東明王陵には、王陵を中心に九つの墳墓が王陵を守護するかのようにめぐっています。その一つ、真坡里第七号墳から出土したこの金銅装飾がなにに使用されたものかは今も定かではありませんが、冠の左右にとりつけた装飾の一片ではないかという見方が有力です。

縁を連珠文で型どった中央部の円にやはり連珠文をめぐらし、三本足の烏が配されています。その周囲に流雲文、鳳凰文、龍文を配置した総透かし彫りの装飾品です。三本足の烏が日像、つまり太陽の象徴として、広く古代東アジアに共通する観念であったことはいうまでもないことです。

その透かし彫りはすぐれて華麗で、雲にして鳳凰、鳳凰にして龍文と変幻自在、逆巻く火炎のごとく流動浮遊し、まさに気韻生動、躍動にみちた図というにふさわしいものがあります。テクニックにみる精巧、繊細で力強い技法は、尚武を尊ぶ高句麗人の気性をそのまま反映しています。

本来、この金銅装飾を裏打ちした台板には、玉虫の羽根が張り付けられており、その秀麗さはさらに極致をきわめたものであったに相違ありません。

火炎文は、平壌市の清岩（チョンアム）洞土城から出土した火炎文透彫宝冠にもみられるごとく高句麗で好んで使われた装飾で、百済遺物にも散見され、とくに玉虫の羽根をあしらった装飾法は、新羅の金冠塚の馬具、日本の法隆寺にある有名な玉虫厨子などごく一部にのみみられる限られた技法で、その影響関係に関心がもたれるところです。

ヘルシーな朝鮮の家庭料理

ミナリキムチ

せりの漬け物

●キムチシリーズ⑧　尹貞淑　大成園（東京・江戸川区）

朝鮮料理では四季折々の野菜をつかって香り豊かなナムル（野菜のあえもの）を作りますが、このキムチは野ぜりではなく栽培もの、しかも茎をつかいます。

材料	
栽培せり	10わ
塩	約20 g
半ずりごま	大さじ 2
キムチの素（5回は作れる量）	
ハイミー	大さじ 2
こぶ茶	大さじ 2
水	カップ 1
もち米粉（白玉粉）	大さじ 2～3
砂糖	大さじ 5
りんご	1 個
すりにんにく	大さじ 10
すりしょうが	大さじ 3
イカ塩辛	300 g
粉とうがらし	150 g
粗挽きとうがらし	100 g
酒	大さじ 5

鮮やかな緑、せり特有の香りを味わって

◆作り方

①せりは葉を取り、茎を残す。

※葉はナムルなどに使うとよい。

②方向をそろえてひとつかみずつきれいに洗い、四、五cmに切る。

③お湯に塩をひとつまみ入れ、沸騰したら固い茎から先に入れてサッと湯通しする。こうするとアクが取れ、鮮やかな緑になる。

④水で洗い、しぼったら塩を二〇g入れる（塩加減は好みに合わせて調節して）。

⑤キムチのもとを混ぜる。

⑥密閉して冷蔵庫に保管する。つけたてがおいしいので早く食べてしまうこと。

キムチの素

◆キムチの素の作り方

①ミキサーに包丁で叩いたイカ塩辛、にんにく、しょうが、皮をむいてぶつ切りにしたりんご、酒を入れて細かく砕く。

②これにとうがらしを加える。

③もち米粉、水、こぶ茶、ハイミー、砂糖をなべに入れて火にかけ、ぐつぐつしてきたら泡立て器で混ぜ糊状にし、冷ましたら②と混ぜる。

④密閉容器に入れ冷凍庫に保管すれば、長くもつ。解凍して使うときはすりにんにく、しょうがを足せば風味が戻る。

※キムチの素さえ常備しておけば、いろいろな野菜に混ぜ合わせて手軽にキムチが楽しめます。

魔法のきぬた

◇ぶん・李錦玉　◇え・洪永佑

むかし、兄と弟がおりました。
兄は川のむこうに、弟は川のこっちに、住んでおりました。

ある日のこと、弟は山でたき木を背負子に、いっぱいとって、くるみの木の陰で、ほっとひとやすみ。すると、ぽとりと、くるみの実が、落ちてきました。弟は、くるみを拾って喜びました。

「これは、お父さんにあげましょう」

すると、また、くるみが、ぽとり。

「これは、お母さんにあげましょう」

またそこへ、くるみが、ぽとり、

「こんどは、お兄さんにあげましょう」

またまた、くるみが、ぽとり。

「こんどは、ぼくがもらいましょ」

弟は、こうして、拾ったくるみを、ふくろに入れて、たき木をしょって、帰り道をいそぎました。ところが、どこで道をまちがえたのか、山奥へどんどん来てしまいました。

「日は落ちたし、困った、困った」

弟は、ようやく荒れはてたお堂を見つけて、そこで夜を明かすことにきめました。そして、天井裏にのぼって、やっと横になりました。弟は、そこが、いちばん安全だと思ったのでした。

どれほどたったのでしょうか。急に外でさわがしい音がしたので、弟は、ぎょっとして、目がさめました。下を見ると、頭に角を生やしたトケビが、わいわいがやがや、どさどさと、お堂の中へ入ってきました。

そして、車座にすわると、金のきぬたと銀のきぬたを出して、たたきながら、うたいだしました。

タンタンでろでろ　まぶしい黄金
タンタンタタンでろでろ　白金
黄金　白金　でろでろもっとでろ
ほらほらエンヤチャ　ヨンヤチャ
黄金　白金でろでろ　タンタンタタン

すると、金のきぬたから、きらきら黄金が、銀のきぬたから、白銀がぴかぴか、ざくざく出てきて、山になりました。

トケビたちは、うれしそうに、うたいながら、黄金・白銀を両手ですくいあげては、ちゃらんちろりんと落としながら、おどりながら、あそんでいます。

このようすを天井から見ていた弟は、こわくてこわくて、体のふるえがとまりません。歯の根が、かたかた鳴らないように、くるみを口にいれていたのですが、あんまり歯をくいしばったので、バリバリとかみくだいてしまいました。

トケビたちは、急に静かになりました。

「やっ、バリバリって音がしたよ」

「このお堂は、ずいぶん古いから……」

「お堂が、こわれるんだ！」

「わあっ、下敷になっちゃうぞ」

「大へんだ！　逃げろ、逃げろ」

トケビたちは、一匹のこらず、外へ飛び出して、一目散に逃げてしまいました。

夜が明けたので、弟が天井から下へおりてみると、トケビがおっぽり出していった金のきぬたと銀のきぬたと、金と銀がそのままありました。弟は、そっくり家に持ち帰りました。きぬたは、ほしいものは、なんでも出してくれる魔法のきぬたでした。

こういうわけで、弟は、楽な暮らしをするようになりました。

この話をきいた川むこうの兄が、さっそく、山のくるみの木の下で待っていると、くるみが、ぽとり、ぽとり、ぽとり。

「ふわ、まず、これはおれが食べる」

「こいつは、かわいい息子にやろう」

「そうだな、つぎは父さんにやろう」

「うん、こんどは、母さんだ」

といっているうちに、日が暮れたので、兄は、古いお堂の中に入って、天井にかくれました。トケビのくるのを待ちました。

やがて、トケビたちがやってきて、金と銀のきぬたをたたきながら、うたいおどりました。床には、目にまばゆい金銀がいっぱい。

兄は、くるみを口に入れて、力いっぱいバリバリと、かみくだきました。ところが逃げだすどころか、

「あいつだ、おれたちをだましたやつだ」

「また、魔法のきぬたを盗みにきたんだ」

「とっつかまえて、ひどい目にあわせろ」

トケビは、あっちこっちを探しまわって、とうとう兄は、見つかってしまいました。

つかまった兄は、しばられてぐるぐるまき。トケビは、きぬたをたたいて、うたいだしました。

タンタン　タタンタン
こいつの体　太くなれ太くなれ
タタンタンタン
こいつの体　細く細く細くなれ

兄の体は、そのたびに、大きな大きな風船玉のようになり、さんざんころがされたり、けとばされたり。細い細いなわのようにのびて、ふんづけられたり、ひっぱられたり。もう、さんざんな目にあいました。

トケビは、ワハハ笑いながら消えました。

弟は、そんな兄を看病して、兄はやっと元気になり、兄弟は仲よく暮らしました。

マダン

SCREEN

『民族と運命』（第17、18部）

●朝鮮芸術映画撮影所（一九九四年度作品）

李承晩に望みをかけアメリカに渡るが、その期待も裏切られる▶

混迷する独立運動の中で求心求めさまよう

最高人民会議常設会議副議長、祖国統一民主主義戦線中央委員会書記局長、朝鮮民主女性同盟中央委員会書記長、朝鮮労働党中央委員会書記などを兼任した許貞淑女史といえば、植民地時代から新聞記者として活動、独立運動に身を投じた才女である。

この作品は、植民地時代、共産主義運動に民族独立の希望を託しながら挫折を繰り返す女史の半生をとおして、指導者の出現を待ちわびた一九二〇年代朝鮮の現状を描いている。

主人公ホ・ジョンスンは、ソウルの高名な弁護士ホ・ウンの一人娘。ホ・ウンは植民地時代にあって民族主義を貫き、民衆の側に立った弁護士として人々の信頼を集めていた。母はジョンスンがまだ幼い頃、三・一人民蜂起のとき日帝に殺された。

そんな両親の教育によってジョンスンは有能な新聞記者として活躍しながら共産主義に目覚め、ML派党員として地下活動に献身していた。

当時、朝鮮共産主義運動は派閥抗争にあけくれ、コミンテルンの承認を得ようと躍起になっていた。

ある日、ジョンスンは組織部長チェ・スンヒョンから、モスクワのコミンテルン本部に赴き、ML派の主導性を陳情してくるよう指令を受ける。国境沿いには「満州国」軍による厳重な警備網が敷かれ、それを越えるのは命がけだった。

ジョンスンは、父にも恋人のソン・ユンソクにも黙って発つが、ユンソクの妨害で汽車から降ろされてしまう。怒るジョンスンにユンソクは、かつて対立する火曜派に属し、同じように命がけでモスクワに潜入したと告白。コミンテルンから事大主義的体質を厳しく批判されたことを告げる。仲間からは任務放棄を激しく断罪され、彼女は共産主義運動の前途に限界を感じ始める。

そんなころ、間島の新しい共産主義グループのひとりキム・チェクの裁判がおこなわれた。「宇宙が太陽という核を得るまで永い歳月が必要だったように、今は混迷する朝鮮共産主義運動も必ず団結の中心、領導の中心を得るだろう」という彼の陳述を聞き、ジョンスンは深い感動を覚える…。

現在と過去を交錯させながら、苛酷な時代に翻弄された二人の独立運動家の生きざまを対比させ、人間の信念とは何かを問う。

（シナリオ＝リ・チュング他、監督＝リ・ジェジュン他、キャスト＝功勲俳優キム・ヨンスク［ジョンスン］、キム・インサム［ホ・ウン］、キム・ヴァンナム［スンヒョン］他）

法廷で陳述するキム・チェク

モスクワ行きを阻まれ怒るジョンスン

EVENT

高麗書芸研究会第六回展

朝鮮文字作品が目を引く

高麗書芸研究会第六回展が一〇月一七～一九日、朝銀東京上野支店四階展示室で開かれた。

同研究会は朝鮮文字による書芸の隆盛を柱に、夏の講習会と年一回の発表会を続けてきた。

今年は五人の共和国作家の特別出品のほか、各地の書芸家・愛好家ら三九人の作品が出品されたが、活動のかいあって四〇パーセントを朝鮮文字の作品が占めた。とくに今年八月、初めて朝鮮民主主義人民共和国で会員六名が集中講習を受けたことが大きな成果を生んだ。

「한겨레（ハンギョレ、一つの民）」（李順分・華雪）、「영원히 함께（ヨンウォニハムケ、永遠に共に）」（韓静資）、「오늘의 슬픔을 힘과 용기로（オヌレ スルプムル ヒムグワ ヨンギロ、今日の悲しみを力と勇気に）」（玄瓚貴）、「김정일동지《미술론》에서（キムジョンイルトンジ《ミスルロン》エソ、金正日同志《美術論》より）」（姜民子）など朝鮮文字の作品が注目を集めた。

KOTOWAZA

タダなら灰汁でも飲む

これはもう、説明などいらない分かりやすい諺である。

灰汁はアクのことで、とても飲める代物ではないが、タダなら何でもいいという欲の皮千枚のごとき御仁には、甘いジュースのように思えるかも知れない。

日本の方にも、「タダなら苦くても甘い」とか、「口に入る物なら按摩（あんま）の笛でも」などというのがある。

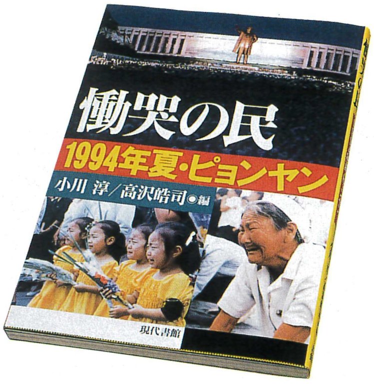
かぎりのない貪欲さを皮肉ったものだが、おのれの周囲を見回すと、こういう御仁、結構いるからおもしろい。

だが、あんまり欲の皮を突っ張りすぎると、とんでもない落し穴におちることがあるので、くれぐれも御用心。

◆ビデオ販売します。『民族と運命』17部（72分）、18部（73分）各4,800円　問い合わせは総聯映画製作所☎03（3262）7111（代）まで。

BOOKS 1

平壌の悲しみをリアルに伝える



●発行＝現代書館　定価＝1,545円
☎03(3261)0778

『慟哭の民』
一九九四年夏・ピョンヤン
小川　淳／高沢皓司編

朝鮮民主主義人民共和国の国家主席として、国内ではもちろん、諸外国においても深く尊敬されていた金日成主席の突然の逝去は全世界に衝撃をあたえた。時あたかもサミット開催中であったが、クリントン米大統領が記者会見の席上で哀悼の意を表したのはきわめて印象的であった。このことは朝米関係の明るい展望を物語るものかとも思われる。これに反して、「韓国」の金泳三「大統領」は、首脳会談で会うことになっていたにもかかわらず、弔意をあらわさなかったばかりか、葬儀に参加したいと願う「韓国」の民主人士と学生代表を拘束するという暴挙をはたらき、内外からひんしゅくをかった。

このような経緯を念頭に入れながら本書を読むと故主席への共和国の人びとの敬慕と悲痛がどんなに深いものなのか、鮮明にわかる。

一九九四年七月九日、平壌（ピョンヤン）放送によって主席逝去の悲報が伝えられたとき、本書の写真をとった高沢皓司氏と寄稿者たちは平壌に滞在していた。それだけに、多くの写真と幾つかの文章は、いずれも緊迫感にあふれている。全篇一一八ページにわたって、主席の逝去を悲しむ共和国の人びとの表情と、ありし日の主席の慈愛にみちた姿が、なんのかざり気も作為もなく、写実的にとらえられている。

日本のテレビ放送で、万寿台（マンスデ）の丘に立つ主席の銅像の前で泣きくずれる平壌市民の姿を見て、これを「やらせ」だとか「強制されたものだ」とかいって、的はずれな妄言を吐いたジャーナリストがいた。また、日本のかつての天皇制による国民の「画一化」が恐ろしいと、表面的な現象だけを見ての言辞を弄するむきもある。が、それらは朝鮮の人びとにたいするはなはだしい冒瀆である。このことは、すぐれた写真家の各カメラアングルでとらえられた写真を見るだけでも明らかである。

一国の指導者と人民大衆との深く強い愛情と信頼関係がいかに人間的で美しく、感動的なものなのか、本書はそのことをはっきりと教えてくれている。

BOOKS 2

『朝鮮社会主義法の研究』
チュチェの国家と法の理論
大内憲昭著

著者は、学生時代から朝鮮の社会主義法の研究に志し、機会あるごとに共和国を何度も訪問して法学専門家と交流を深め、疑問とするところを質問して自らの専攻する分野の研究を積んできた共和国の法分野の数少ない専門家の一人である。

この度、年来の研究成果を体系的に整理し、共和国の法関係の専門書としてまとめて出版されたことは、類書がきわめて少なく、その法の本文とその適用の情況が知られることの少ない現状のもとで、まことに喜ばしいことといわねばならない。

本書の構成は六章と補論からなっており、第一章―朝鮮社会主義法の形成と発展、第二章―朝鮮の人民政権と一九四八年憲法、第三章―一九七二年朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法、第四章―朝鮮社会主義憲法と適法性、第五章―朝鮮社会主義法とプロレタリア独裁、第六章―朝鮮民主主義人民共和国の司法制度、補論、朝鮮の社会主義家族法、となっている。

共和国は、よく知られているように国家の指導思想であるチュチェ思想によって独自の社会主義理論と方法を創造しており、本書は、この「朝鮮式社会主義」理論を法領域において考察しようとしたものである。

第一章は、朝鮮社会主義法を特徴づける要因を分析しながら、この本全体の概論をなすといってよく、第二～三章は、共和国の一九四八年および一九七二年の憲法を歴史的に考察しており、一九九二年の憲法改正についても論じている。第四章は、共和国の法体系において特別の意味をもつ「遵法性」について理論的に検討しており、第五章は、共和国におけるプロレタリア独裁理論を国家と法の一般理論として考察し、かつ、共和国の刑法を初めて日本に紹介した論文である。第六章と補論は、これまで日本によく知られていなかった司法制度および家族法の紹介である。

本書の特徴として、各章を通じて、儒教的な「伝統」がいかに新しい「社会主義」法に継承され展開されているかを考察する著者の視角には興味深いものがある。

共和国法関係の数少ない専門書

●発行＝八千代出版　定価＝2,800円
☎03(3262)0420

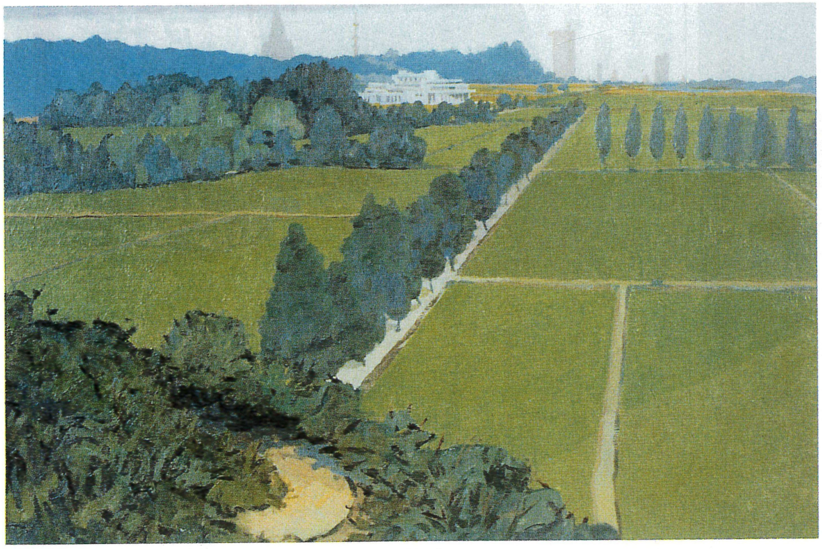
マダン

今月のアート

油彩(130.3×89.4)

「ピョンヤン近景」

李東一
(東京)



祖国の名勝山々を登り温泉に浸る。ピョンヤンの街路を徘徊し、店々を覗く。自由に往き来することの出来なかった二〇年前が嘘の様に思える。

父母たちが涙して後にした郷里が身近に感じられる様になった。度重なる祖国訪問で友達も増え、僕にも「故郷」が出来た様な思いがする。それと同時に、異境の様に思えた祖国の景色が目に馴染み、「見慣れた」風景に変わった。

ここで生まれ育っていれば、この景色が僕の絵のモチーフになったであろうと、いつしか思うようになった。

異国で生まれ育つという二世、三世の異常を日常として受け止めようとする、現実的な在日朝鮮・「韓国」観も在るが、僕はやはり、母国で生まれ育ち、故郷から外国や世界を観るという「正常」で在りたかったという思いを捨て切れなかった。

集合の待ち時間に人々を描く。列車の停車時間にホームに降りて駅近景をスケッチし、仲間と写生にも出掛ける。牛も描けば、川に浮かぶジャンクも描く。路傍の石や草、柳も新鮮に見える。

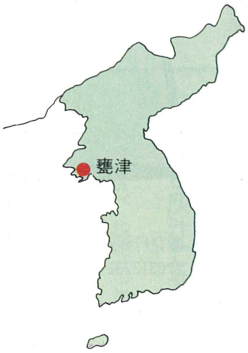
祖国の山河、故郷というものを飽きるまで描いてみたい。

テソン山中腹から観た「ピョンヤン近景」は、そういう僕の思い入れの強い絵の一枚である。

募る祖国への思い

朝鮮の特産物

黄海南道・甕津のクルミ



あなたの用途は？

黄海南道甕津半島はクルミの特産地だけあって大長山峰からのびる大小の山々と渓谷一面にクルミ園がひろがっており、甕津邑から三山里への一〇数キロメートルに及ぶ道路沿いにのびた街路樹も、また万珍と長松の出張所所在地の大通りにもクルミの木々が生い茂っている。

クルミ属植物はヨーロッパ・アジア及びアメリカ大陸に分布しその種四四種を数え、その利用の歴史はかなり古い。ヨーロッパでは紀元前三世紀にクルミの名があげられており、その利用種(ペルシアグルミ)がアジアに導入され、さらに四世紀ごろ朝鮮に伝わっている。

クルミは生食のほかクルミ油を抽出し高級食用油として、また高級化粧品や機械用オイル、塗料、香料の原料としても使われ、高血圧や胃病、皮膚病などの薬品にも利用できる。また果実の内皮は可塑剤、研磨剤に利用される。幹は堅く木材のほか楽器、家具類の用材に用いられる。

CULTURE

SPORTS

在日同胞

第33回朝・日親善サッカー横浜大会

「第三三回横浜市長杯争奪朝・日親善サッカー横浜大会（在日本朝鮮人神奈川県体育協会と横浜サッカー協会主催）が一〇月一五日、三ツ沢陸上競技場でおこなわれた。

大会では、在日朝鮮蹴球団が昨年度日本の五大都市戦で三位に入賞した強豪の横浜選抜と対戦。前半開始五二秒に蹴球団が先取したあと、一〇分、一六分、一七分、二六分に連続シュートを決め、6—0で圧勝した。また、神奈川朝鮮蹴球団が横浜選抜（三部）に1—1で引き分け、神奈川高麗クラブが横浜シニアに3—1で勝った。

横浜サッカー協会の斉藤禮二総務理事は「サッカー熱が高いこの横浜市で朝・日親善サッカーが三〇年以上も続けられていることはとても意義のあることだ。今後も絶えることなく交流を深めていきたい。そして、〝サッカー外交〟で朝・日の国交正常化をぜひ実現させたい」と語っていた。

北九州初中、市民体育祭中学バスケットボール大会で優勝

北九州朝鮮初中級学校男子バスケットボール部が一〇月九日、初出場の北九州市民体育祭の中学校バスケットボール大会で見事優勝に輝いた。

この市民体育祭は、同校が昨年から出場可能になった唯一の公式戦で、昨年は区予選で敗退。しかし、今大会では予選から快進撃、決勝戦では延長戦の末に勝利、初の本大会出場を果たした。

本大会には、区予選を勝ち抜いた一六校が出場。同校は粘りを発揮して準決勝まで勝ち進み、対管生中との決勝戦では、持ち味の速攻とミドルシュートで得点を重ね、50—36で勝利。創部一五年目に「北九州一」の座をつかんだ。

同校の金台権校長は「関係者は他の公式戦にも出たいという生徒たちの思いをしっかり受け止めてほしい」とのべながら、近い時期に県中体連に再度加盟申請をおこないたいとしている。

市バスケットボール協会の大庭武理事長は「噂では大変強いと聞いていたが、こんなに強いチームとは思ってもいなかった。県大会の上位に必ず行く実力をもっている。一日も早く県大会、全国大会に出られるようにしなければならない。そのためにも朝鮮学校が県大会に出場できるよう働きかけたい」と語っていた。

FC東京朝鮮、都北区少年サッカー大会で優勝

一〇月八日から三日間にわたって東京・北区の浮間小学校でおこなわれた少年チームによる「石井杯サッカー大会」で、東京朝鮮初級学校選抜チームのFC東京朝鮮が見事優勝に輝いた。

FC東京朝鮮は、五月の東京チビリンピック94JA全農杯サッカー大会に次ぐ二度目の優勝となった。

大会では、区内二四チームと招待された四チームの二八チームが参加し、勝敗を競った。

招待チームとして準々決勝から出場したFC東京朝鮮は、初戦で浮間小学校を8—0、準決勝でフナドアミーゴを9—1の大差でそれぞれ下し、決勝で王一FCと対戦、結局7—0で圧勝した。

FC東京朝鮮の金生遵監督は「同胞父母らだけでなく、日本の父母らも熱心に応援してくれた。朝鮮学校を誇れて良かった。今後は北区の少年チームらと交流をもっと深めていきたい」と語っていた。

在日朝鮮蹴球団対横浜選抜

優勝したＦＣ東京朝鮮

私の BEST SHOT 一枚

民族教育の誇り

徐元洙
（兵庫）

今年四月、五月の朝鮮総聯大阪・京都に対する無謀な政治弾圧、朝鮮女学生へのチマ・チョゴリ切りつけ事件が相次ぐなか、九月三日、兵庫県尼崎市長が尼崎初中級学校を訪問し、授業参観、懇談を通じて民族教育の現状を日本の多くの方々に見ていただき、大きな激励を受けました。

これも、七月二日に結成された日本の市民団体による「尼崎の朝鮮学校を支える会」が動いてくださったおかげです。

とくにさる一〇月二日、「第二三回尼崎市民まつり」に尼崎初中級、尼崎東初級学校の舞踊部一〇〇人の生徒が招待され、五万人の市民が見守る中、四車線のメーンストリートいっぱいに、「オンヘヤ」のリズムにのって扇の舞を繰り広げました。

とても素晴らしく観衆のみなさんに感動を与え、嵐のような喝采が送られ、「朝鮮学校がんばれ」と誰かが叫ぶのを耳にしました。

満足の一日でした。

募集

このコーナーでは、同胞生活、朝・日親善、共和国訪問など、その他朝鮮に関する思い出の写真を募集します。簡単なコメント（二〇〇字前後）をつけてお送りください。掲載された方には記念品を差しあげます。なお、写真は返却いたしません。

朝鮮語教室・慣用語

今月は（冬）

いよいよ冬の訪れですね。スキーや、スケート等ウインタースポーツをおもいっきり楽しんでみませんか？ それからわすれてはいけないのが、あったかーい温泉に入ることですよ。

アチムチョニョグロ クウェ サヌルヘヂョッソヨ
아침저녁으로 꽤 싸늘해졌어요.
朝夕だいぶん冷えてきたわね。

チャチャロキョウルナイチャビルル ヘヤゲックン
차차로겨울나이차비를 해야겠군.
そろそろ冬支度をしなくちゃ。

アイグ チュウォラ
아이구 추워라.
オオー さむー！

カムギ トゥロッヌンガ ポァヨ
감기 들었는가 봐요.
風邪ひいたんじゃない？

オスル ト ハンヂャンキョイッコ カセヨ
옷을 더 한장 껴입고 가세요.
もう一枚着ていったら？

ヨボ キムシテギ セヂットゥリ ハンダムニダ
여보, 김씨댁이 새집들이 한답니다.
あなた、金さん宅新居入りするみたいよ。

キョウルナル チンヌントォンイ クルリドゥッ トヌル モア
겨울날 진눈덩이 굴리듯 돈을 모아
少ない元手でお金を増やしてようやく

チブル サッタオ
집을 샀다오.
家を買ったんだよ。

POINT 《겨울날 진눈덩이 굴리듯》(キョウルナル チンヌントォンイ クルリドゥッ)の《진눈덩이》(チンヌントォンイ)は水気の多い、つまり解け易い雪の塊のことでなかなか積もりにくいので、これが転じて少ない元手でお金を増やすことをいいます。《겨울나이》(キョウルナイ)は「冬を越すこと、越冬」、《겨울나이차비》(キョウルナイチャビ)は「冬支度」、《옷을 껴입다》(オスル キョイッタ)は「重ね着する」ということです。

文・呉香淑
絵・金蓉子

画報　**漫評**　蔡峻

孤立

목소리 声 목소리

◎共和国と在日の情報源

書店にて不定期ですが購読しています。貴誌は朝鮮民主主義人民共和国の情報だけでなく在日朝鮮人についての記事もあるのでよいと思います。

今後、朝鮮の現代芸術、革命歌劇や歌曲などについてとりあげて欲しい。また朝鮮半島における日帝の蛮行、米帝の蛮行の記事がもっと欲しい。

土屋裕樹（東京都江戸川区・二二）

◎国家権力の横暴さ

日本国の国家権力が一人一人の基本的人権を無視し、人の立場を考えず行動している部分が、明治時代と変わらない。改善されたのもあるが対外国人ではまったく変わっていない。

八・九月合併号の権力乱用、仕組まれた政治弾圧の記事がよかった。京都府警が朝鮮総聯京都府本部を強制捜索した事件は共和国と朝鮮総聯のイメージダウンを狙ったものであることがよくわかった。

杉本雅代（兵庫県加西市・五五）

◎真の国際人

貴誌の「佳話雅言」インタビュー記事を毎月楽しみにしています。ここに登場される知識人、俳優、女優、映画監督、漫画家と各界各層の活躍されている方々はとても素晴らしいと思います。まだ記憶に新しいと思いますが心ない日本人によるチマ・チョゴリ暴行事件が相次ぎ心を痛めておりましたが、ここに登場される方々の記事を読みますと救われた思いになります。真の国際化を目指す人たちはこういう人たちだと心から思います。

桑田圭子（愛知県名古屋市・三一）

編集部メモ

●投書

日本と朝鮮に関する身近なできごとやご意見、本誌の記事へのご感想などを、五〇〇字前後にまとめてお送りください。投書のさい、おなまえ、おところ、おとし、ご職業（できれば電話番号）をお書きそえください。

◆送り先　〒112東京都文京区白山4―33―14朝鮮画報社編集局

●読者カード

本誌の内容向上に参考となるみなさまの忌憚のないご意見をお待ちいたします。貴重なアドバイスとして保存させていただき、誌面改善に役だててまいります。

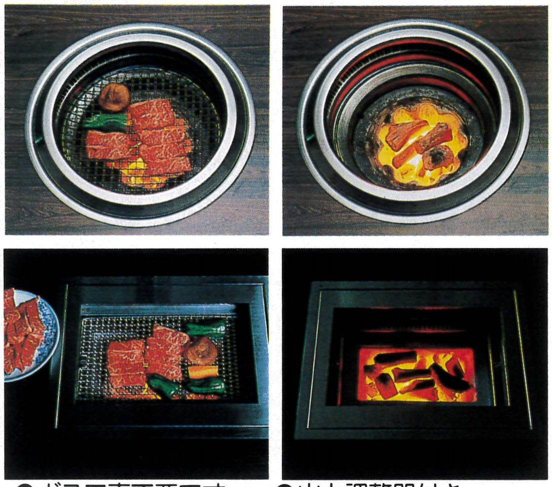
読者カードは、本誌とじこみのはがきをご利用ください。（切手を貼る必要はありません）

●本誌の購読を希望される方へ

本誌購読をご希望される方は、もよりの朝鮮総聯本部、または支部へお申しこみください。また、弊社への直接購読も承っております。

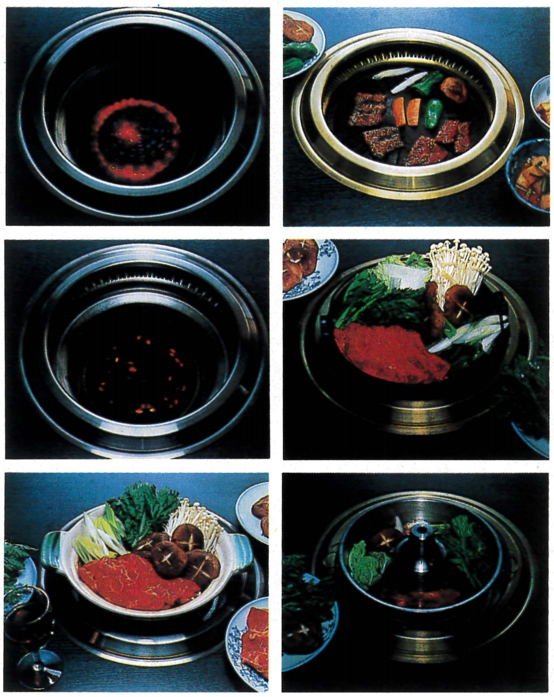
●購読料（送料・消費税込）　＊一年購読 6,864円　＊半年購読 3,432円（一部572円）

元祖炭火　焼肉　無煙ロースター



●ガス工事不要です。　●火力調整器付き。
●ロースター炉内着火3～4分で火が起きます。

最新式　鍋兼用・多目的
ガス無煙　6通り使用可能



㊤ガス網焼、遠赤放熱板　㊤鋳物ロストル
㊥ガス網焼、セラミック炭　㊥スキヤキ鍋
㊦土鍋　㊦シャブシャブ鍋

◎業務拡張に付　代理店募集中!
保証金、権利金不用。男女問わず。営業指導有。

■製造・発売元
株式会社ダイホー
本社／〒496 愛知県津島市大和町2丁目130-1 FAX〈0567〉28-6810
☎〈0567〉28-6811（代）

日本の国家犯罪を追及する

一九九二年一二月九日、東京・神田の集会会場で証言に立った南北朝鮮の「慰安婦」被害者らが初めて出会い、壇上でともに過去のつらい体験をいたわりあう情景が、満員の聴衆の感動を誘った。これは日本の戦後補償の遅れを国連や世界に向けて訴えようとする日本各地の市民団体、学者、法律家らが実行委員会を構成してカンパを募り、国連人権委員会関係者らを招いて開いた「国際公聴会」の会場でのハプニングであった。

この「国際公聴会」の実行委員会代表を務めたのが荒井信一氏。氏は現在、「国際公聴会」を発展・改組して設立された「日本の戦争責任資料センター」の代表でもある。

荒井氏は自らを戦争世代と称する。敗戦直前の短い期間であったが一九歳で軍隊を経験した。敗戦時、一五年戦争を体験している古参兵らは、大陸侵略戦争時の日本軍が中国や南洋諸島でおこなったことを思い返し、占領下の日本を案じていた。氏はこの時、この戦争の実態が聞かされてきたものと違うと感じた。加えて、徴兵されて戦地に向かう途中、撃沈されて海の藻屑となった友人たちの「犬死」を無駄にさせないためにも、この戦争の真相を明らかにする使命を感じたという。

この資料センターが目的とするところは、日本の戦争責任問題、戦後補償問題の解決のために歴史と法律面から必要な研究をおこない、運動に貢献すること。

「戦争責任を明らかにするということは、まず事実関係を明らかにして誰に責任があるのかをはっきりさせ、その責任者を処罰する。そして被害者の被害回復のための賠償などの措置を取ることです」

この問題は本来、戦後処理の過程で解決されるべきことであった。

「しかし当時の日本は敗戦責任ばかりを追及し、自らの手で植民地支配、侵略戦争責任を追及する運動を起こし得る主体的な力量が充分になかったのです」

そこに冷戦構造が重なり、これにうまく便乗した日本の支配層は戦争中の「帝国意識」をひきずって経済発展をとげてきた。それが南京虐殺でっちあげ論や「慰安婦」公娼論などの戦争責任や植民地支配についての問題発言につながっていると指摘する。

「八月の村山首相の発言でも『慰安婦』問題にたいして国家の犯罪という視点が全然なく、国家補償に触れれば国家責任の問題を認めることになり、戦争責任問題に波及するからという議論ばかりが繰り返されていますが、処罰問題を具体化することは国家の責任を明確にすることでもあります」

いま、必要なのは日本国民一般に浸透している「帝国意識」をどうやって壊して行くかということ。その方法論の一つとして模擬裁判を提案する。

「例えば『慰安婦』問題について言えば、ある程度特定できるわけですから、実際の裁判と同じ手続きでやる。一方は国内法でやり、また一方は国際法の犯罪としてインターナショナルな法廷でやる。こういうプロセスを通して日本国民の加害者としての意識のずれを埋めて行くことが、真の日朝友好の発展につながって行くことだと思います」

（玲）

荒井信一
（駿河台大学教授）

あらい・しんいち◆1926年東京生まれ。1949年東京大学文学部卒。国際関係史専攻。茨城大学教授を経て現在、駿河台大学教授。著書に『現代史におけるアジア』、『第二次世界大戦』、『ゲルニカ物語』などがある。

民主主義的民族教育の最高学府

朝鮮大学校

体育館

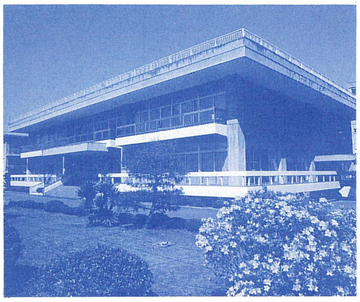
学部

- 政治経済学部
- 文学部
- 歴史地理学部
- 経営学部
- 外国語学部
- 理学部
- 工学部
- 師範教育学部

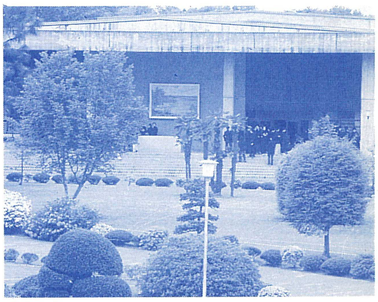
研究院　社会科学研究所　朝鮮語研究所　民族教育研究所

記念館

図書館



食堂



講堂

朝鮮大学校　〒187 東京都小平市小川町1-700　TEL 0423(41)1331(代)

朝鮮画報
通巻四〇〇号
一九六二年九月二六日第三種郵便物認可
一九九四年一二月五日発行(毎月一回・五日発行)
●編集・発行 朝鮮画報社 〒112 東京都文京区白山4−33−14
TEL 03(3813)7521(代)
FAX 03(3813)7524
振替口座 東京2−410608番
定価 四八〇円(税込)(送料九二円)

健康を願う気持・・・・・・・・・
・・・・形に変えて贈りましょう!

御贈答に品質最高・開城産高麗人蔘酒の詰合せをどうぞ!

健康は幸福の礎

❶ 高麗人蔘酒・蜂蜜セット
価格 5,000円

❷ 高麗人蔘酒
内容量 650cc. 2本セット価格 6,700円

❸ 高麗人蔘酒
内容量 650cc. 1本セット価格 3,800円

❹ 金剛紅蔘酒(クムガンコウジンシュ)
内容量 800cc. 価格 3,500円

❺ 平壌焼酎
内容量 300mℓ 価格 390円
内容量 450mℓ 価格 500円

❻ ファミリー3点セット
価格 5,000円

❼ 高麗人蔘・蜂蜜漬(クルサム)
内容量 1kg 価格 10,000円

❽ 純粋蜂蜜
2本セット 価格 3,300円

❾ 人蔘茶
内容量 5g×25包 価格 2,500円

●商品に関するお問い合せは電話にてお気軽にどうぞ!

海陽薬業株式会社
■東京都台東区東上野2-19-1 〒110
TEL:03(3836)2161 ■ FAX:03(3836)2184

クスリの **新星堂**

平壌市 **平陽薬局**

印刷 大日本印刷株式会社